

# 公益社団法人日本地球惑星科学連合

## 平成 26 年度 第 1 回理事会

開催日時 平成 26 年 4 月 28 日（月）  
午後 18 時 15 分から午後 20 時 00 分

開催場所 パシフィコ横浜 会議センター 213 号室  
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1



## 平成 26 年度 第 1 回 理事会 次第

### 1. 開 会

### 2. 報告事項

1. 大会開催状況報告
2. ジャーナル関連報告
3. 25 周年記念事業関連報告
4. その他

### 3. 審 議 事 項

- 第 1 号議案 「教育問題検討委員会」の「教育検討委員会」への名称変更の件  
第 2 号議案 地球惑星科学振興西田賞の設立の件  
第 3 号議案 総会議事および資料承認の件

### 4. 閉 会

(資 料)

報告事項

|    |                |           |        |
|----|----------------|-----------|--------|
| 1. | 2014 年連合大会開催状況 | ・ ・ ・ ・ ・ | P. 1   |
| 2. | ジャーナル関連報告      | ・ ・ ・ ・ ・ | P. 2-4 |
| 3. | 25 周年記念事業報告    | ・ ・ ・ ・ ・ | P. 5   |

審議事項

|         |                                     |           |        |
|---------|-------------------------------------|-----------|--------|
| 第 1 号議案 | 「教育問題検討委員会」の「教育検討委員会」への<br>名称変更について | ・ ・ ・ ・ ・ | P. 6   |
| 第 2 号議案 | 地球惑星科学西田賞設立の件                       | ・ ・ ・ ・ ・ | P. 7-9 |
| 第 3 号議案 | 総会議事及び資料承認の件                        | ・ ・ ・ ・ ・ | 別冊     |

## 2014 年連合大会開催状況

### 【2014 年日本地球惑星科学連合大会】

開催期間 4 月 28 日（金）～5 月 2 日（金）

開催場所 パシフィコ横浜 会議センター

### 【2014 年大会開催セッション数】

|               | 2014 年大会 | 2013 年   | 2012 年   | 2011 年   | 2010 年   |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| ユニオン (U)      | 10 ( 2)  | 7 ( 2)   | 7 ( 2)   | 9 ( 5)   | 4 ( 1)   |
| パブリック (O)     | 7 ( 1)   | 5 ( 0)   | 4 ( 0)   | 4 ( 0)   | 4 ( 0)   |
| 宇宙惑星科学 (P)    | 29 (11)  | 23 (10)  | 26 (13)  | 22 ( 8)  | 27 ( 5)  |
| 大気水圏科学 (A)    | 24 ( 5)  | 26 ( 6)  | 22 ( 5)  | 20 ( 4)  | 22 ( 5)  |
| 地球人間圏科学 (H)   | 25 ( 8)  | 22 ( 8)  | 20 ( 8)  | 22 ( 6)  | 17 ( 4)  |
| 固体地球科学 (S)    | 58 (10)  | 58 (11)  | 60 ( 6)  | 61 (11)  | 58 (11)  |
| 地球生命科学 (B)    | 9 ( 2)   | 10 ( 2)  | 10 ( 2)  | 10 ( 3)  | 9 ( 2)   |
| 教育・アウトリーチ (G) | 5 ( 1)   | 4 ( 0)   | 5 ( 0)   | 5 ( 0)   | 4 ( 0)   |
| 領域外・複数領域 (M)  | 26 ( 1)  | 25 ( 3)  | 23 ( 6)  | 21 ( 4)  | 23 ( 4)  |
| 合計            | 193 (41) | 180 (42) | 174 (42) | 174 (41) | 167 (32) |

（括弧）の中は国際セッション数

### 【2014 年大会投稿数】

- ・発表投稿数：3809 件 （2013 年 3980 件，2012 年 3876 件，2011 年 4044 件，2010 年 3686 件）
  - 口頭発表 2428 件 （2013 年 2226 件，2012 年 1975 件，2011 年 2354 件，2010 年 2090 件）
  - ポスター 1381 件 （2013 年 1754 件，2012 年 1901 件，2011 年 1690 件，2010 年 1596 件）

### 【会期中スケジュール】

- 4 月 28 日 18:15-20:00 第 1 回理事会（213 号室）
- 5 月 1 日 13:00-14:00 学協会長会議（メインホール）
- 5 月 1 日 16:15-17:15 社員総会（メインホール）
- 5 月 1 日 17:15-18:40 25 周年記念式典（メインホール）
- 5 月 2 日 13:00-14:00 第 2 回理事会（414 号室）

## ジャーナル関係報告

1) 4月22日深夜, JpGU 雑誌「Progress in Earth and Planetary Science」が出版開始となった。これまでご支援どうもありがとうございました。

<http://www.progearthplanetsci.com/>

でご確認いただけます。

現在6本が出版されていますが, さらに近日中に2本, そして, 実質受理で英文校正にだしているものが2本あります。

11) 連合大会に際し, 「セッション・コンビーナーによる優秀論文」の推薦受付

12) JpGU「ジャーナル関連特別セッション」の推進

13) JpGU「ジャーナル関連特別シンポジウム」の推進

も含めて, 「Progress in Earth and Planetary Science」を発展させていこうと思っております。

2) 平成26年度 ジャーナル編集長会議事録(第1回, 開催日時 平成26年4月9日(水))および平成26年度 ジャーナル企画経営委員会(メール会議, 開催日時 平成26年4月16-18日)

### 21) 会計報告

2013年度の科学研究費補助金(研究成果公開促進費)について, 350万円を2014年度に繰り越す申請を日本学術振興会に対して行った。2014年度の科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の予定金額は, 3,170万円である

22) 2013年度末に「ジャーナル関連特別シンポジウム」の募集を行った。固体地球科学セクションの推薦を受けて, JAMSTECの田中 聡博士を代表とした応募があった。内容は, 国際測地学及び地球物理学連合(IUGG)の直属の委員会である地球深部研究(Study of the Earth's Deep Interior: SEDI)が2年ごとに開催するシンポジウムで, 地震学, 地球電磁気学, 測地学, 鉱物学, 地球流体力学を用いた地球と惑星深部の構造とダイナミクスに関する研究成果を共有するものである。

本募集について, ①シンポジウムの趣旨が JpGU の活動に密接にリンクしている, ②固体地球科学セクションからの推薦を受けている, ③複数の学会(分野)にまたがるようなトピックスを扱っている, ④援助の義務としている海外からの招聘者と日本側の代表格の方々(2015年度は約2-4名)は講演内容が JpGU ジャーナルに論文として投稿される予定である, ⑤特に, 招待者が overview などの review articles の雑誌「PEPS」への投稿が含まれている, とのことで, 採択が決定された。

### 23) 連合大会でのアピールなども含めた宣伝活動について

出版後, 積極的に宣伝活動を積極的に行なう。また, 完成した MyPage が現在 PEPS のみ検索可能にしているが, 将来的には参加学会の関連サイトも検索できるよう発展させる。

### 24) 今年度のスケジュール

- ・5/20 午後編集長会議及び, 日本人の編集委員会会議 品川, 浜松町近辺
- ・編集長会議(13時-15時)

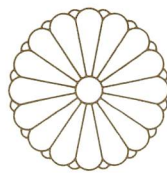
・日本人編集員会議（15時－17時）

・7/29 札幌 AOGS 期間中，18：00－外国人を含めた編集委員会

25) Highlight

日本人学生向けのアピールで，日本語 800 文字程度．著者本人に依頼し，外国人は著者の英文を HE? の学生に翻訳を依頼する予定である．

26) PEPS 商号登録を完了した．



# 商標登録証

(CERTIFICATE OF TRADEMARK REGISTRATION)

登録第 5 6 5 7 2 3 6 号

(REGISTRATION NUMBER)

商標

(THE MARK)

(標準文字)

P E P S

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分

(LIST OF GOODS AND SERVICES)

第 9 類 電子出版物

第 1 6 類 印刷物

第 4 1 類 電子出版物の提供

商標権者

(OWNER OF  
THE TRADEMARK RIGHT)

東京都文京区弥生二丁目 4 番 1 6 号 学会センタービル 4 階

公益社団法人日本地球惑星科学連合

出願番号

(APPLICATION NUMBER)

商願 2 0 1 3 - 0 7 3 1 9 1

出願日

(FILING DATE)

平成 2 5 年 9 月 1 9 日 (September 19, 2013)

登録日

(REGISTRATION DATE)

平成 2 6 年 3 月 2 0 日 (March 20, 2014)

この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。  
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成 2 6 年 3 月 2 0 日 (March 20, 2014)

特許庁長官

(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

羽藤秀雄





## 25 周年記念事業関連報告

### 【25 周年記念式典】

5 月 1 日 17:15-18:40 25 周年記念式典（メインホール）

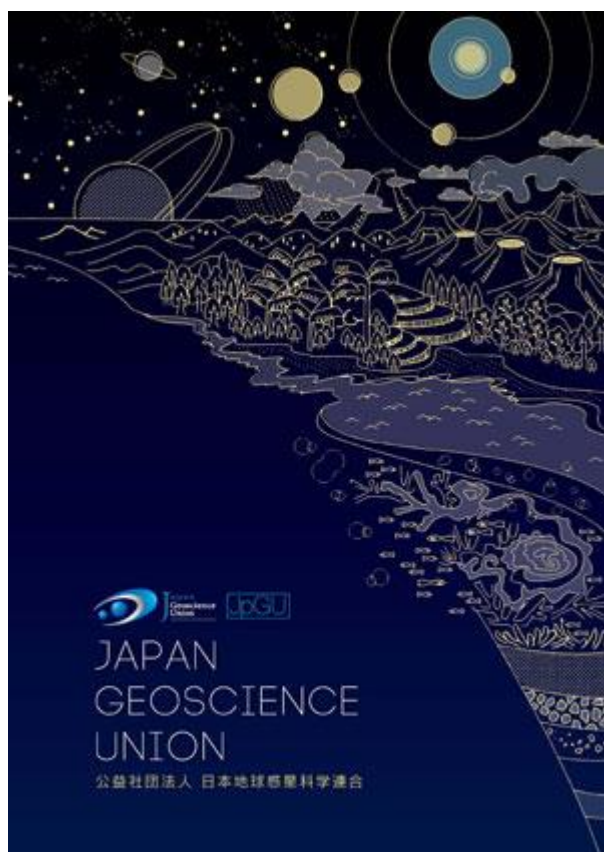
1. 開会の言葉（連合会長）
  2. 来賓祝辞（日本学術会議 大西会長）
  3. 来賓祝辞（海洋研究開発機構 平理事長）
  4. フェロー表彰式（選出経緯説明）
  5. 表彰者発表（43 名）
  6. 閉会の言葉（連合副会長）
- （ポスターコアタイム 18:15-19:30）

### 【2014 年度フェロー受賞者 43 名】（敬称略 50 音順）

|       |                   |      |      |      |      |       |
|-------|-------------------|------|------|------|------|-------|
| 阿部 豊  | 岡部篤行              | 熊澤峰夫 | 高木章雄 | 中田 高 | 深尾良夫 | 丸山茂徳  |
| 荒牧重雄  | Kirschvink Joseph | 河野 長 | 谷 誠  | 西田篤弘 | 藤井敏嗣 | 三上岳彦  |
| 池田元美  | 唐戸俊一郎             | 小嶋 稔 | 田村俊和 | 野上道男 | 本蔵義守 | 水谷 仁  |
| 入倉孝次郎 | 川口淳一郎             | 近藤 豊 | 鎮西清高 | 長谷川昭 | 松井孝典 | 山形俊男  |
| 上田誠也  | 木村磐根              | 櫻井 隆 | 中澤高清 | 花輪公雄 | 松田時彦 | 行武 毅  |
| 尾池 和夫 | 久城育夫              | 杉村 新 | 中沢弘基 | 廣田 勇 | 松本 紘 | 和田英太郎 |
| 岡田尚武  |                   |      |      |      |      |       |

### 【25 周年記念パンフレット】

2014 年 4 月完成



## 第 1 号議案 「教育問題検討委員会」の「教育検討委員会」への名称変更について

新名称（案）

### 教育検討委員会

資料 現行規則

#### 教育問題検討委員会規則

（趣旨）

**第1条** この規則は、定款及び法人運営基本規則に基づき、教育問題検討委員会に関し必要な事項を定めるものとする。

（任務）

**第2条** 教育問題検討委員会は、学校教育及び社会教育における地球惑星科学に関わる諸問題を担当し、委員会での検討結果を理事会に報告する。また、教育問題に関し、理事会からの諮問に応じ、又は理事会に意見を述べる。

（幹事）

**第3条** 教育問題検討委員会には、幹事を置く。

2 幹事は、正会員の中から、委員長が選任する。

3 幹事は、委員長及び副委員長を補佐する。

4 幹事の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会の下に置く組織）

**第4条** 教育問題検討委員会のもとには、以下の小委員会を置く。

（1）大学及び大学院教育小委員会

（2）地学教育小委員会

（3）教員養成等検討小委員会

（4）教育課程小委員会

（委員会の運営）

**第5条** 法人運営基本規則第18条第1項の場合のほか、本委員会については、5分の1以上の委員により会議の招集が請求された場合、委員長は速やかに会議を招集しなければならない。

（委員の任期）

**第6条** 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

（委員長及び副委員長の任期）

**第7条** 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。

附則

本規則は、この法人の設立の登記の日に遡って適用されるものとする。

## 第 2 号議案 地球惑星科学振興西田賞の設立の件

### 地球惑星科学振興西田賞規則

2014 年 4 月 28 日 理事会制定

(趣旨)

この規則は、公益社団法人日本地球惑星科学連合（以下、「連合」という。）が「地球惑星科学振興西田賞」により、地球惑星科学の分野において国際的に高い評価を得ている優れた中堅研究者を表彰する為に必要な事項を定めるものである。本賞の名称は西田篤弘会員のご提案と寄付金により本賞を維持することに由来する。

(受賞者の要件)

第 1 条 受賞者は、次の各号に該当するものとする。

- (1) 審査年度の 4 月 1 日時点において 45 歳未満の連合の正会員である者。
- (2) 地球惑星科学の分野において新しい発想によって優れた研究成果を挙げ、国際的に高い評価を得ている者。
  2. 原則として個人とするが、授賞 1 件につき 2 名までの連名を認める場合がある。

(選考・受賞者数)

第 2 条 受賞者の選考は隔年で行ない、選考毎に 10 件以内を選ぶ。

2. 受賞者数は、連合の各セクションから 1 件以上とし、配分においてはセクションの規模を考慮する。

(推薦)

第 3 条 受賞者は正会員による推薦または自薦により候補者となるものとし、推薦者 1 名が以下の内容が記載された推薦書（任意書式）をもって会長に推薦するものとする。

- (1) 候補者の名前、連絡先（所属機関、住所、電話番号、メールアドレスなど）
  - (2) 候補者の経歴、受賞歴
  - (3) 査読付き論文リストおよび主要な論文 5 編の別刷り
  - (4) 推薦理由書（A 4 で 6 ページ以内、日本語あるいは英語）
  - (5) 自薦の場合は 2 通の推薦書、他薦の場合は推薦者以外の 2 名のサポートレター（日本語あるいは英語）
  - (6) 他薦の場合は推薦者の氏名と連絡先（住所、電話番号、メールアドレスなど）
2. 推薦書の MS Word ファイルとその PDF を日本地球惑星科学振興西田賞事務局にメールにて送付する事とする。
  3. 推薦者は、本人に授賞の意志があることを事前に確認しなければならない。

(審査委員会)

第 4 条 理事会は、地球惑星科学振興西田賞審査委員会（以下、「審査委員会」という。）

を設置し、推薦された候補者の中から受賞者を選考する。

2. 審査委員会に関する規則は別に定める。

(授与)

第5条 理事会は、審査委員会からの選考結果を受け、受賞者を認定する。

2. 会長は表彰式において受賞者に賞状を授与する。

3. 副賞として受賞者に1件あたり50万円を贈る。原資は地球惑星科学振興西田賞特別会計とする。

(推薦・審査の実施時期)

第6条 候補者の推薦及び審査の時期は理事会が定める日程をもって行う。

(規定の改廃)

第7条 この規定の改廃は、理事会の決議を必要とする。

附則

(1) この規則は、2014年4月28日から施行する。

(2) 本賞の授賞は2014年度から開始し、以降、隔年（西暦の偶数年度）にて行う。

(3) 本賞の授賞式は選考年度の翌年に行う。

# 地球惑星科学振興西田賞審査委員会設置規則

2014 年 4 月 28 日 理事会制定

## (趣旨)

第 1 条 この細則は、地球惑星科学振興西田賞規則に基づき、地球惑星科学振興西田賞審査委員会（以下、「審査委員会」と言う。）に関し必要な事項を定めるものとする。

## (任務)

第 2 条 審査委員会は、理事会の要請に基づき、地球惑星科学振興西田賞被推薦者の中から受賞者を選考する。

## (委員会の組織)

第 3 条 委員は、各セクションから当該分野の現状に通じた経験豊かな正会員を一名以上複数名選出するものとする。委員会全体で 15 名程度とし、その構成比率はセクションの規模を考慮して決める。

2. 委員は理事会の議を経て会長が委嘱する。

3. 委員長は互選とし、理事会の議を経て会長が指名する。

## (委員会の運営)

第 4 条 委員長は、必要があると認めるときは委員会を招集し、その議長となる。

2. 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。可否同数のときは議長の採決するところによる。

3. 前項の場合において、議長は委員として評決に加わることはできない。

## (委員の任期)

第 5 条 委員の任期は審査年度の 10 月から 3 月までとし、再任は最初の審査開始から最大 4 年までとする。

## (委員名の公表)

第 6 条 委員名は、受賞者が決定した時点でこれを公表する。

## (委員の制約)

第 7 条 被推薦者および推薦者は委員になることはできない。

## (秘守義務)

第 8 条 委員は、被推薦者および推薦者に関する情報を委員会の外に出してはならない。

## 附則

(1) この規則は、2014 年 4 月 28 日から施行する。

# 公益社団法人日本地球惑星科学連合

## 平成 26 年度 定時社員総会

日 時 平成 26 年 5 月 1 日（木） 16 時 15 分～17 時 15 分

場 所 パシフィコ横浜 （〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

### 目的事項

#### 報告事項

- (1) 平成 25 年度（公益社団法人第 3 期）事業報告の件
- (2) 平成 26 年度（公益社団法人第 4 期）事業計画書及び収支予算書等の件

#### 決議事項

- (1) 第 1 号議案 平成 25 年度（公益社団法人第 3 期）決算承認の件
- (2) 第 2 号議案 定款規則第 3 章第 15 条（監事の人数）の変更の件
- (3) 第 3 号議案 定款規則第 3 章第 19 条（監事の任期）の変更の件
- (4) 第 4 号議案 役員（理事、監事）選任の件

#### 資料

1. 平成 25 年度事業報告書・・・・・・・・ P. 1～30
2. 平成 26 年度事業計画書・・・・・・・・ P. 32～43
3. 平成 26 年度収支予算書・・・・・・・・ P. 44～45
4. 決算報告書・・・・・・・・ P. 46
  - 1) 貸借対照表・・・・・・・・ P. 46
  - 2) 正味財産増減計算書・・・・・・・・ P. 47～48
  - 3) 正味財産増減計算書内訳表 ・・・ P. 49～50
  - 4) 財務目録・・・・・・・・ P. 51
  - 5) 財務諸表に対する注記・・・・・・・・ P. 52～53
  - 6) 監査報告書・・・・・・・・ P. 54～55
5. 定款規則変更案および変更の理由 ・・・ P. 56
4. 役員（理事、監事）選任の件・・・・ P. 57
5. 役員候補者推薦委員会名簿 ・・・・ P. 58



# 平成 25 年度 事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

公益社団法人日本地球惑星惑星科学連合

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階  
電話：03-6914-2080 Fax：03-6914-2088



# 平成 25 年度 事 業 報 告 書

公益社団法人第 3 期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

公益社団法人日本地球惑星科学連合が定款に定める事業の概要は以下の通りである。

## 1. 学術大会にかかわる事業

- （1）学術大会（地球惑星科学連合大会）の開催 [定款第 5 条（4）]
- （2）公開プログラム「高校生によるポスター発表」の開催 [定款第 5 条（4）]
- （3）地球惑星科学関連、教育機関、学協会、プロジェクトの紹介・展示 [定款第 5 条（4）]
- （4）地球惑星科学関連資料・書籍の展示・頒布 [定款第 5 条（4）]

## 2. 学術推進にかかわる事業

- （1）学術雑誌等の出版 [定款第 5 条（2）]
- （2）国際連携事業 [定款第 5 条（3）]
- （3）サイエンスボード活動 [定款第 5 条（5）]
- （4）各種委員会活動 [定款第 5 条（5）]

## 3. 普及にかかわる事業

- （1）広報・普及誌発行事業 [定款第 5 条（2）]
- （2）ウェブ、メールニュースを活用した広報・普及事業 [定款第 5 条（2）]
- （3）一般公開セミナーの展開 [定款第 5 条（2）]
- （4）公開授業、公開セッションの開催 [定款第 5 条（2）]
- （5）各種サイエンスプログラムへの講師派遣、紹介 [定款第 5 条（2）]

## 4. 教育・キャリア支援・社会還元等にかかわる事業

- （1）国際地学オリンピック活動支援 [定款第 5 条（2）]
- （2）地理オリンピック活動支援 [定款第 5 条（2）]
- （3）教育問題対応事業 [定款第 5 条（1）]
- （4）教員免許更新講習会の開催準備 [定款第 5 条（1）]
- （5）男女共同参画事業 [定款第 5 条（6）]
- （6）キャリア支援事業 [定款第 5 条（6）]
- （7）自然災害（風水害、地震、火山、津波、環境）対応 [定款第 5 条（1）]
- （8）自然災害リテラシー普及 [定款第 5 条（1）]

以下に、個別の事業の状況について述べる。

## I. 事業の状況

## 1. 学術大会にかかわる事業

### (1) 学術大会（地球惑星科学連合大会）の開催 [定款第5条（4）]

地球惑星科学の一層の発展に寄与することを目的とし、当該科学に関連する研究、教育に携わる、あるいは関心を持つ全ての人々を対象に、公開で学術大会を開催し、学術講演、ポスター発表による関連分野の研究発表、情報交換の場を設けることを目的として、日本地球惑星科学連合大会（以下、「連合大会」という。）を開催した。連合大会の開催に関連して、講演募集、プログラム編成、ユニオン・パブリックセッションの設定、アウトリーチプログラムの企画等、に関わる事業を行なった。

日本地球惑星科学連合 2013 年大会 (Japan Geoscience Union Meeting 2013)

会 期：2013 年 5 月 19 日(日)～24 日(金)

場 所：幕張メッセ 国際会議場 (〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1)

大会委員長：石渡 明（東北大学東北アジア研究センター 学協会長会議議長）

主 催：公益社団法人日本地球惑星科学連合

後 援：43 団体

協 賛：日本サンゴ礁学会，日本大気電気学会，日本高圧学会，日本天文学会

開催セッション数：180

(参考：過去開催セッション数、2012 年 177, 2011 年 174, 2010 年 167, 2009 年 134)

| セッションカテゴリー   | 開催数 | (*国際) |
|--------------|-----|-------|
| U: ユニオン      | 7   | (*2)  |
| O: パブリック     | 5   | (*0)  |
| P: 宇宙惑星科学    | 23  | (*10) |
| A: 大気海洋・環境科学 | 26  | (*6)  |
| H: 地球人間圏科学   | 22  | (*8)  |
| S: 固体地球科学    | 58  | (*11) |
| B: 地球生命科学    | 10  | (*2)  |
| G: 教育アウトリーチ  | 4   | (*0)  |
| M: 学際・広領域    | 25  | (*3)  |
| 計            | 180 | (*42) |

※(\*) 国際セッション数：42

(過去国際セッション数：2012 年 42, 2011 年 41, 2010 年 32, 2009 年 9)

発表論文数：3980 件

(参考：過去発表論文数、2012 年 3876 件, 2011 年 4044 件, 2010 年 3686 件, 2009 年 3088 件)

|      |        |                                               |
|------|--------|-----------------------------------------------|
| 口頭発表 | 2226 件 | (2012 年 1975 件, 2011 年 2354 件, 2010 年 2090 件) |
| ポスター | 1754 件 | (2012 年 1901 件, 2011 年 1690 件, 2010 年 1596 件) |

参加者数：6824 名

(参考：過去大会参加者数、2012 年 7318 名, 2011 年 5809 名, 2010 年 5746 名)

事前参加登録者数：3410 名

参加登録区分：全日程 2820、1 日券 590（名）

所属内訳：一般 2357，小中高教員 32，大学院生 911，シニア 44，学部生 66，高校生 0

当日参加登録者数：1405 名

参加登録区分：全日程券 753、1 日券 652（名）

所属内訳：一般 995，小中高教員 10，大学院生 329，シニア 16，学部生 21，高校生 2

総合案内来場者数：2009 名

所属内訳：一般 370，小中高教員 44，大学院生 5，シニア 77，学部生 658，高校生 221

プレス：112 名， 会合参加：115， 出展関係者：407（名）

## （2）公開プログラム「高校生によるポスター発表」の開催 [定款第 5 条（4）]

連合大会において、高校生を対象とした公開プログラム「高校生によるポスター発表」を開催し、高校生の研究成果発表に対して研究者や一般の参加者が聴講し意見交換を行ない、また優秀発表を表彰した。この活動に必要な募集活動、プログラム作成等、開催に必要な作業等を実施した。

開催日：2013 年 5 月 19 日（日）

場 所：幕張メッセ 国際会議場 2 階国際会議室

主 催：公益社団法人日本地球惑星科学連合 広報普及委員会

責任者 原 辰彦（独立行政法人建築研究所、広報普及委員会副委員長）

後 援：千葉県教育委員会，千葉市教育委員会

発表数：67 発表

参加者数：262 名（発表高校生 207，他参加者 55）

参加高校：40 校

愛知県立一宮高等学校，遺愛女子中学高等学校，茨城県立土浦第一高等学校，茨城県立土浦第三高等学校，茨城県立日立第一高等学校，茨城県立並木中等教育学校，栄東高等学校，横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校，海城中学高等学校，宮城県立宮崎北高等学校，宮城県立古川黎明中学校・高等学校，京都府立桃山高等学校，京都府立洛東高等学校，群馬県立前橋女子高等学校，群馬県立中之条高等学校，埼玉県立浦和高等学校，埼玉県立熊谷女子高等学校，埼玉県立川越女子高等学校，山陽女子高等学校，神奈川県立相模原青陵高等学校，静岡県立伊豆総合高等学校，静岡県立磐田南高等学校，千葉県立長生高等学校，巢鴨高等学校，大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎，大阪府立春日丘高等学校 定時制の課程，長野県屋代高等学校，長野県諏訪清陵高等学校，土佐塾中学・高等学校，島根県立益田高等学校，島根県立吉賀高等学校，那須高原海城高等学校，飯山北高等学校，福井県立藤島高等学校，福島県立磐城高等学校，福島県立福島南高等学校，兵庫県立加古川東高等学校地学部，兵庫県立三田祥雲館高等学校，北海道室蘭栄高等学校，明成高等学校

表彰発表：

最優秀賞（1 件）

大阪府立春日丘高等学校 定時制の課程

『微小重力をつくる ～小型微小重力実験落下装置の製作と改良～ 第3報』

優秀賞（3 件）

静岡県立磐田南高等学校

『高高度発光現象エルブスに伴う縞構造の発見と電離圏擾乱との関係』

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

『気象台保管の地震波形記録を用いた解析』

飯山北高等学校

『野沢温泉における沈殿物の研究』

奨励賞（7 件）

佳作（19 件）

### （3）地球惑星科学関連、教育機関、学協会、プロジェクトの紹介・展示 [定款第5条（4）]

地球惑星科学に関連した教育機関、学協会、ならびに各種プロジェクトについて、関係者らのみならず、高校生を含む一般に紹介・広報することを目的に、プロジェクトを推進する諸機関、団体に対して連合大会会場にて展示活動を支援する場を設けた。これらの紹介・展示に関わる募集活動、展示準備作業等を行なった。

団体展示：63 ブース（2012 年 43, 2011 年 44, 2010 年 48）

大学インフォメーションパネル：11 大学（2012 年 13, 2011 年 11, 2010 年 10）

出展関係者入場者数：407 名

### （4）地球惑星科学関連資料・書籍の展示・頒布 [定款第5条（4）]

毎年、多数の地球惑星科学に関連する書籍、資料が公刊されているが、それらに対するアクセスは必ずしも容易ではないことから、連合大会のうちに、これらを多数展示し、頒布するための場を設けて、地球惑星科学関連の研究、教育に携わる人々や、高校生を含む一般の方々に利用促進をはかった。これらの活動に必要な手配や現場での作業を行なった。

書籍出版（関連商品）：25 ブース（2012 年 29, 2011 年 26, 2010 年 26）

学協会エリア：個別デスク 9 机（2012 年 10, 2011 年 10, 2010 年 12）

パンフレットデスク展示：10 机（2012 年 8, 2011 年 11, 2010 年 9）

## 2. 学術推進にかかわる事業

### （1）学術雑誌等の出版 [定款第5条（2）]

国際情報発信力強化を目的に、準備を進めてきた JpGU の新規ジャーナルオープン・アクセス（OA）電子ジャーナルについて、2014 年創刊を目指し系統的に準備を行った、出版社の選定を行い、SPRINGER 社と契約した。

ジャーナル名称を「Progress in Earth and Planetary Science (PEPS)」と決定し、ジャーナル出版のための委員会、及び連内にジャーナル事業を行う独立の組織「ジャーナル出版事務

局」を開設し事務職員を雇用した。日本学術振興会から科学研究費補助金（研究成果公開促進費）を獲得した。専用ホームページを整備し、投稿システムを立ち上げ、10月末から投稿受付を開始した。優れた論文投稿を促進する施策として、①著名研究者への原稿依頼、②地球惑星科学の知識などを整理したレビュー（総論）のための国際シンポジウムのサポート、③2013 連合大会発表の中からコンビーナー推薦の優秀発表への投稿依頼を行った。2月に第1号の創刊を目指して準備を進めた。AGU、AOGS、IGUなどの国際会議へのブース出展やパンフレットへの広告掲載を行うなど、新ジャーナルを広く周知する取組を行った。さらに、連合大会と連携した海外情報発信強化・引用促進のアピールサイトの準備をおこなった。

ジャーナル編集・運営委員会（仮称）（4月2日開催）以降、月1～2回の頻度で編集長会議を開催した。

## （2）国際連携事業 [定款第5条（3）]

我が国の地球惑星科学コミュニティを代表して、地球惑星科学に関する国際的な研究協力、交流活動の推進を図るために、ヨーロッパの EGU、米国の AGU、アジアの AOGS 等の国際的な学協会と連携協力しながら、地球惑星科学の発展に資する活動を行ない、地球惑星科学に関わる国際会議等の企画、開催、国際的プロジェクトの推進等を行うための準備を進めた。EGU、AOGS とは、それぞれが主催する学術大会において共通のセッションを設け、互いに乗り入れて研究発表を行なった。また、海外で開催される関連学会において、ブースを設置し、日本国内で得られた成果に関する広報、資料頒布等の海外学会展示事業を実施した。

### EGU General Assembly 2013 ブース出展

日程：2013 年 4 月 7 日 - 12 日

会場：ウィーン、オーストリア

### AOGS Annual Meeting 2013 ブース出展

日程：2013 年 6 月 24 日 - 28 日

会場：ブリスベン、オーストラリア

### IGU2013 Kyoto Regional Conference ブース出展

日程：2013 年 8 月 4 日 - 9 日

会場：京都市、日本

- ・地理分野の最大の国際会議において、連合の活動、新ジャーナルの広報を行った。

### AGU Fall Meeting 2013 ブース出展

日程：2013 年 12 月 9 日 - 13 日

会場：サンフランシスコ、アメリカ合衆国

- ・12月10日、Scientific Societies Luncheon にて AGU 執行部との情報交換を行った。
- ・12月13日、NASA とのスタッフ会議 2014 年大会への参加が確定した。

## （3）サイエンスボード活動 [定款第5条（5）]

多様な分野を含む惑星地球科学を、一定の基準のもとにくくり、各々の分野の更なる発展をめざすサイエンスボードを組織し、個々のサイエンスを長期的な視点から、強力に支援する活動を推進した。

#### ■宇宙惑星科学セクション

- ・5月22日に、宇宙惑星科学セクションボード会議を行い、平成26年度連合大会より宇宙惑星科学セクションでも学生賞を設けることを決定した。そして、学生賞の実行委員会を編成した。また、AOGS2014、ジャーナル対応について話合った。
- ・メーリングリストにて随時議論をおこなった。

#### ■大気水圏科学セクション

- ・2013年5月20日(月)13:00～14:00 幕張メッセ国際会議場 301A にて、ボードミーティング開催。
- ・メーリングリスト等を用いてのボードメンバー間にて、2013年大会学生優秀発表賞選出(4月～6月)、ハイライト論文の選出(4月)、AOGS プログラム委員推薦(5月)、連合ジャーナルの海外 Editorial board メンバー推薦(6月)、JpGU フェロー制度準備委員会委員推薦(6月)、JpGU 選挙管理委員会委員推薦(7月)、JpGU2014年大会プログラム委員選出(7月)、等を適宜行った。
- ・趣旨に賛同した学協会と共同で、地球観測衛星の利用コミュニティ(TF コミュニティ)を発足させた(2013年7月)。TF コミュニティとして我が国の地球観測の今後の進め方について、政府への提言を行った(2013年10月)。
- ・連合25周年パンフレットに掲載するセクション紹介の記事を執筆した。
- ・日本学術会議が取りまとめた「夢ロードマップ」の改訂を行った(2013年9月)。

#### ■地球人間圏科学セクション

- ・2013年5月21日(火)13:00～14:00 幕張メッセ 301B にて、ボードミーティング開催。
- ・2013年8月4日(日)～9日(金)に京都国際会館で開催された IGU (International Geographical Union) 2013年京都国際地理学会議に JpGU の展示ブースを出し、日本地球惑星科学連合のパンフレット等を配布し、コミュニティへの広報活動を行った。
- ・メーリングリスト等を用いて Future Earth、大型研究、ロードマップ、シンポジウム、PEPS 等について頻繁に議論し、また情報発信をした。
- ・日本学術会議地球惑星科学委員会地球人間圏分科会主催、日本地球惑星科学 連合ほか共催の公開シンポジウム「増大する災害と地球環境問題に地球人間圏科学はどう取り組むか? (平成25年12月5日(木)に日本学術会議講堂にて開催)をコーディネートし、大きな成果を上げた。
- ・メーリングリスト等を用いてのボードメンバー間の議論を随時行い、連合会員で地球人間圏科学セクション関係者への公募情報、シンポジウム開催など情報発信した。

#### ■固体地球科学セクション

- ・2013年1月～3月、5月のボードミーティングに向けて、固体地球科学セクションのHP、セクション内部の構造、セクションの褒章制度についてのメーリングリストにもとづいて、議論を

行った。

- ・ メーリングリスト等を用いてのボードメンバー間にて、2013 年大会の学生賞（4 月～6 月）、ハイライト論文（2013 年 4 月）の選出をおこなった。
- ・ 2013 年 10 月固体地球科学セクションのホームページの改訂を行い、内容を充実させた。随時、連合会員で固体地球科学セクション関係者への公募情報など独自に発信した。
- ・ 固体地球科学セクションの褒賞制度を検討するワーキンググループを設置し、可能な褒賞の案、褒賞の選考規定等の検討を行った。
- ・ 連合の新英文誌 PEPS のレビュー論文の適切なトピックスと執筆候補者を検討した。適切な候補者に執筆を依頼し、原稿の投稿を依頼した。現在査読中。
- ・ 2014 年大会へ向けての提案すべきセッション（9～12 月）、学生賞、スペシャルレクチャー講師（ハワイ大学ガルシア教授・火山学）を決定した。
- ・ セクションの内部構造として地球深部科学フォーカスグループ（小委員会）を設置し田中聡博士を委員長とし、数名のメンバーを決定した。
- ・ このフォーカスグループの事業として、2014 年度に連合の共催で SEDI 国際会議を開催することとした。

#### ■地球生命科学セクション

- ・ メーリングリスト等を用い、ボードメンバー＋代議員により 2013 年大会の学生賞（5 月～6 月）、ハイライト論文（2013 年 4 月）の選考をおこなった。大会運営担当としてセクションボードから鈴木庸平委員を推薦した。
- ・ 日本学術会議による大型研究計画への提案書作成の検討（4～5 月）。
- ・ 2013 年 7 月連合ホームページの地球生命科学セクションの概要を検討した。同時にセクションのホームページの検討を開始した。
- ・ 連合ジャーナルのための適切なトピックスと執筆者の提案（国内・海外）、ジャーナルの適切な名称の議論、地球生命科学分野の編集委員を審議し、6 名の外国人研究者を編集委員として依頼した。（8 月）
- ・ 2014 年大会へ向けての提案すべきセッション（9 月～10 月）、学生賞の内容の検討、スペシャルレクチャー講師依頼、ハイライト論文選考（3 月）手続きを適宜行っている。
- ・ 地球生命科学の夢ロードマップの部分改訂を行なった。（11 月）
- ・ 連合のフェロー制度創設に伴い、地球生命科学分野から数名の候補者の応募をコミュニティにはかった（11 月）。

#### （４）各種委員会活動 [定款第 5 条（５）]

理事会の取り決めにより委員会を組織して、各種事業を進めた。

#### ■総務委員会

- ・ 公益社団法人の円滑な運営に向けて諸規則の制定を行った。
- ・ 総会資料と理事会開催資料を事務局との協働により行った。
- ・ 共催、協賛、後援等の外部折衝と理事会への照会を行った

- ・選挙管理委員会にオブザーバ参加し、理事会との連絡調整を行った。
- ・事務局の運営に関して監修と助言を行った。

#### ■財務委員会

- ・2014年1月29日(水)13:00～15:00 連合事務局にて委員会開催。
- ・2013年決算書、2014年予算書を策定した。連合の運営基盤の強化のために、中長期的に学会運営に関して経理面の課題と対策の検討を行った。

#### ■広報普及委員会

- ・連合2013年大会でパブリックセッション「高校生によるポスター発表」及び「地球・惑星科学トップセミナー」を開催した。
- ・「地球・惑星科学トップセミナー」の映像を記録して動画配信を行った。
- ・2013年11月2日(土)14:00～16:00 東京大学本郷キャンパス小柴ホールにて「日本地球惑星科学連合2013年秋の公開講演会：深海の底から宇宙の果てまで ～「限界」からこの世界を知る～」を開催した。映像を記録して動画配信を行った。
- ・ニュースレター誌JGLを年間4号発行した。
- ・メールニュース定期号を年間12件、臨時号を年間約20件程度発信した。
- ・連合HP上で連合の活動や関連トピックスを画像ニュースとして公開した。
- ・連合HPのシステム拡張を行い、委員会やセクション独自のページを担当者が容易に作成・運用できるようにした。・その他、連合の活動及び地球惑星科学分野での最新トピックスや学術会議の活動をコミュニティ内外に迅速に伝えるための活動を行った。

#### ■環境・災害対応委員会

- ・2013年5月21日(水)13:00～14:30 幕張メッセ101Aにて委員会を開催した。
- ・2013年10月5日(土)13:30-15:30 フラクシア品川D会議室にて委員会を開催した。
- ・各学協会における環境・災害問題に関する活動状況と緊急災害発生時における各学協会の対応に関する情報交換を行い、連合における緊急災害発生時の対応方策を検討した。
- ・2014年連合大会において、ユニオンセッション「連合は環境・災害にどう向き合っていくのか？」を含む重要課題に関するセッション開催提案を行った。

#### ■男女共同参画委員会

- ・2013年1～5月 キャリア支援委員会と連携して、第4回キャリアパスアンケートを実施した。また、第1～3回のアンケート結果報告を連合大会会場で配布し、ウェブに掲載した(<http://www.jpgu.org/index/about/career.html>)。
- ・2013年3～8月 男女共同参画学協会連絡会が2012年11～12月に実施した大規模アンケートの結果に関し、「アンケート結果解析ワーキンググループ」に参加し、「任期付き雇用問題」に関するパート(第4章)を担当執筆した。  
(<http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/enquete.html>)
- ・2013年5月19日(日)14:15～18:00 2013年合同大会の期間中に、パブリックセッション



「イクメンプロジェクトと科学者のワーク・ライフ・バランス」を開催した。

・2013年5月21日(火) 13:00～14:00 2013年合同大会の期間中に、委員会を開催した。

・2013年8月9日(土) JSTの支援事業で、(独)国立女性教育会館が主催の「女子中高生夏の学校 2013～科学・技術者のたまごたちへ～」のポスターブースに初出典した。Dr. ナダレンジャーによる科学教育パフォーマンスは好評であり、ポスターランキングで1位を獲得した。関連学協会からは、地球電磁気・地球惑星圏学会(SGEPSS)が継続参加し、日本地形学連合(JGU)も初めて参加した。

・2013年10月7日(月) 東洋大学白山キャンパスにて開催された「男女共同参画学協会連絡会第11回シンポジウム」にポスター参加した。

・2013年11月～ 男女共同参画学協会連絡会が2012年11～12月に実施した大規模アンケートの結果を踏まえて要望活動を行うための「アンケート結果解析ワーキンググループ」に参加し、要望内容を検討中である。

・2014年1月～ キャリア支援委員会と連携して、第5回キャリアパスアンケートを実施中である。

#### ■キャリア支援委員会

・2013年1月10日～5月31日に第3回キャリアパスアンケートを全会員を対象に実施し、1393名より回答を得て、速報結果を連合大会次にチラシにて配布した。

・2013年5月23日に連合大会203会場にて、キャリア支援委員会を開催し、H24の活動報告・決算報告ならびにH25の活動予定・予算について審議を行った。

・2013年5月23日 連合大会201A会場において、女性の大学教員、科学雑誌編集者、大学以外の研究機関からスピーカを招き、「キャリアパス説明会」を開催した。

・2013年連合大会期間中、3階にて「進路相談ブース」を設置し、大学、研究機関、科学館、博物館、マスコミから6名の協力を得て、進路についての相談と情報提供を行った。

#### ■教育問題検討委員会

・2013年5月18日(土)幕張メッセ301Aにて「地学教育に関するシンポジウム」を開催した。

・2013年5月19日(日)幕張メッセ201Aにて委員会を開催した。

・2013年5月19日(日)パブリックセッション「防災教育－災害を乗り越えるために私達が子ども達に教えること2」を開催した。

#### ■情報システム委員会

・2013年5月24日(金)幕張メッセ204にて、業者による投稿システムなどについてのプレゼンテーションがあり、新しい情報を収集した。

・2013年5月24日(金)幕張メッセ101Aにて、委員会を開催した。

・2013年大会システムについては、投稿画面での特殊文字登録の簡略化、学生優秀発表賞5セクション実施に伴う選択メニュー追加、プログラム編成システムの完全英語化、確認メールでのID、パスワード送信分離など他の改修を行った。

#### ■大会運営委員会

- ・2013 年連合大会を開催した。
- ・2013 年 10 月 18 日(金)東京大学理学部 1 号館にて委員会を開催した。
- ・2013 年 1 月 17 日(金)東京大学理学部 1 号館にて委員会を開催した。
- ・2013 年 1 月 23 日(木)東京大学理学部 1 号館にて 2014 年大会受付システムプレゼンテーションを開催した。
- ・メーリングリスト等を用いて委員会ボードメンバー間にて、2014 年大会開催について、各事案について検討を行った。

#### ■国際学術委員会

- ・2013 年 5 月 23 日(木)幕張メッセ 101A にて委員会を開催した。
- ・AGU や EGU 等の連携海外組織の大会にブースを出展し、本連合や加盟学協会の活動紹介を行った。ブース出展時にあわせて、意見交換の場を設定した。

### 3. 普及にかかわる事業

#### (1) 広報・普及誌発行业 [定款第 5 条 (2)]

研究の推進から得られた科学的成果を広く社会一般に広報し、普及することを目的とするアウトリーチ誌「JGL」を昨年同様に年間 4 号定期発行した。。ニュースレター (JGL) の発行日、部数は以下のとおりである

| 発行日              | No          | 発行部数     |
|------------------|-------------|----------|
| 平成 25 年 5 月 1 日  | Vol.9 No.2  | 30,000 部 |
| 平成 25 年 8 月 1 日  | Vol.9 No.3  | 26,000 部 |
| 平成 25 年 11 月 1 日 | Vol.9 No.4  | 26,000 部 |
| 平成 26 年 2 月 1 日  | Vol.10 No.1 | 26,000 部 |

#### (2) ウェブ、メールニュースを活用した広報・普及事業 [定款第 5 条 (2)]

連合ウェブサイトや毎月発行のメールニュース等を通して、地球惑星科学に関連する各種ニュースとともに、国内外の学会、シンポジウム、研究集会、公開イベントの情報や、求人・公募情報等を配信した。今期は、基幹となるウェブシステムを新たに整備するとともに、毎月、定期的にメールニュースを発刊した。

| 発行日              | No      | 種類       |
|------------------|---------|----------|
| 平成 25 年 4 月 10 日 | No. 164 | 定期 04 月号 |
| 平成 25 年 4 月 15 日 | No. 165 | 臨時号      |
| 平成 25 年 4 月 26 日 | No. 166 | 臨時号      |
| 平成 25 年 5 月 2 日  | No. 167 | 臨時号      |
| 平成 25 年 5 月 10 日 | No. 168 | 定期 05 月号 |
| 平成 25 年 5 月 15 日 | No. 169 | 臨時号      |
| 平成 25 年 5 月 18 日 | No. 170 | 臨時号      |
| 平成 25 年 6 月 10 日 | No. 171 | 定期 06 月号 |
| 平成 25 年 6 月 17 日 | No. 172 | 臨時号      |
| 平成 25 年 6 月 20 日 | No. 173 | 臨時号      |
| 平成 25 年 7 月 10 日 | No. 174 | 定期 07 月号 |

|                   |         |          |
|-------------------|---------|----------|
| 平成 25 年 8 月 12 日  | No. 175 | 定期 08 月号 |
| 平成 25 年 8 月 30 日  | No. 176 | 臨時号      |
| 平成 25 年 9 月 2 日   | No. 177 | 臨時号      |
| 平成 25 年 9 月 10 日  | No. 178 | 定期 09 月号 |
| 平成 25 年 9 月 20 日  | No. 179 | 臨時号      |
| 平成 25 年 9 月 27 日  | No. 180 | 臨時号      |
| 平成 25 年 10 月 10 日 | No. 181 | 定期 10 月号 |
| 平成 25 年 10 月 17 日 | No. 182 | 臨時号      |
| 平成 25 年 10 月 23 日 | No. 183 | 臨時号      |
| 平成 25 年 10 月 24 日 | No. 184 | 臨時号      |
| 平成 25 年 10 月 28 日 | No. 185 | 臨時号      |
| 平成 25 年 11 月 1 日  | No. 186 | 臨時号      |
| 平成 25 年 11 月 11 日 | No. 187 | 定期 11 月号 |
| 平成 25 年 11 月 25 日 | No. 188 | 臨時号      |
| 平成 25 年 12 月 10 日 | No. 189 | 定期 12 月号 |
| 平成 25 年 12 月 24 日 | No. 190 | 臨時号      |
| 平成 26 年 1 月 8 日   | No. 191 | 臨時号      |
| 平成 26 年 1 月 10 日  | No. 192 | 定期 1 月号  |
| 平成 26 年 1 月 28 日  | No. 193 | 臨時号      |
| 平成 26 年 2 月 3 日   | No. 194 | 臨時号      |
| 平成 26 年 2 月 10 日  | No. 195 | 定期 2 月号  |
| 平成 26 年 2 月 19 日  | No. 196 | 臨時号      |
| 平成 26 年 3 月 10 日  | No. 197 | 定期 3 月号  |
| 平成 26 年 3 月 17 日  | No. 198 | 臨時号      |

### (3) 一般公開講演会の展開 [定款第 5 条 (2)]

社会に対する地球惑星科学関連の研究成果の広報・普及活動を通して、地球惑星科学の発展に資するとともに、安全・安心な社会の構築に寄与することを目的に、一般講演会を開催した。5 月の連合大会においてパブリックセッション「地球惑星科学トップセミナー」を開催するとともに、11 月には「秋の公開講演会」を開催した。

#### ①防災教育－災害を乗り越えるために私達が子ども達に教えること 2

2013 年 5 月 19 日 (日) 14:15～16:00 千葉幕張メッセ国際会議場 303 号室にて 5 講演が行われた。参加者数 100 名

#### ②地球・惑星科学トップセミナー

2013 年 5 月 19 日 (日) 9:45～11:30 千葉幕張メッセ国際会議場国際会議室にて 3 講演が行われた。参加者数 300 名

#### ③イクメンプロジェクトと科学者のワーク・ライフ・バランス

2013 年 5 月 19 日 (日) 14:15～16:00 千葉幕張メッセ国際会議場 101A 号室にて 6 講演が行われた。参加者数 30 名

#### ④日本のジオパーク－新規ジオパーク公開審査とジオパークの紹介－

2013 年 5 月 20 日（月）9:00～17:40 千葉幕張メッセ国際会議場国際会議室にて 13 のジオパーク地区によるプレゼンテーション・公開審査が行われた。参加者数 300 名

#### ⑤ 2013 年秋の講演会

深海の底から宇宙の果てまで ～「限界」からこの世界を知る～

2013 年 11 月 2 日（日）14:00～17:00 東京大学本郷キャンパス小柴ホールにて 3 講演が行われた。  
参加者数 120 名

### 4. 教育・キャリア支援・社会還元にかかわる事業

#### （1）国際地学オリンピック活動支援 [定款第 5 条（2）]

国際地学オリンピックなどの国際的な活動を通じて、多くの高校生がサイエンスにより深く触れてもらう機会を提供することを目的に、地学オリンピック事業に関連する支援と活動を積極的に進めた。

・9 月 11 日から 19 日までインドのマイソールで第 7 回国際地学オリンピックインド大会が開催され、日本は金メダル 1、銀メダル 3 の成績であった。今後も、英語力増強に力を入れて行く必要があることを確認した。

・A0 入試用に地学オリンピックの二次選抜に残った高校生には証明書を発行しており、徐々に地学オリンピックを A0 入試に採用する大学が増えつつある現状にある。本大会は、2016 年に日本の三重県で開催されることが決定している。

・3 月 23 日から 25 日につくば市で開催される第 6 回日本地学オリンピック本選にて、「日本地球惑星科学連合賞」を設立し、本選で最優秀成績を獲得した女性に賞状ならびに記念品の授与を行い、参加高校生のモチベーションの向上を図り、本活動への支援の強化を行った。

#### （2）国際地理オリンピック活動支援 [定款第 5 条（2）]

地理オリンピックに関連する活動と支援を行なった。

・平成 25 年度は、国際地理学連合（IGU）の国際会議に合わせて 7 月 30 日から 8 月 5 日に京都市にて第 10 回国際地理オリンピックが京都で開催された。日本の成績は、銀 1 銅 1 であり、2 名の受賞は、日本の参加以来初の好成績であった。

・日本での開催にあたり、理事会で検討結果、50 万円の賛助金の追加支援を行った。

・2014 年は 8 月に、ポーランドのクラクフにて第 11 回国際大会が行われ、国内選抜が 1 月から 3 月に行われた。

#### （3）教育問題対応事業 [定款第 5 条（2）]

学校教育および社会教育における地球惑星科学に関わる諸問題に対し以下の活動を行なった。

・平成 25 年 5 月 18 日幕張メッセ国際会議場にて、教育問題検討委員会主催地学教育シンポジウムを開催し、次期学習指導要領における高校地学教育の在り方について、基礎的な議論を行った。

- ・平成 25 年 5 月 19 日幕張メッセ国際会議場にて、教育問題検討委員会（総会）を開催し、教員養成等小委員会の活性化を討議した。
- ・平成 25 年 7 月 20 日第 44 回教育課程小委員会開催（都立両国高校）。次期高校学習指導要領改訂に向けた検討体制作りおよび文科省・各都道府県教委等への働きかけについて検討した。
- ・平成 25 年 9 月 24 日第 45 回教育課程小委員会開催（都立両国高校）。次期高校学習指導要領改訂における科目設定を検討する WG を立ち上げた。
- ・平成 25 年 12 月 2 日第 46 回教育課程小委員会開催（都立両国高校）。次期高校学習指導要領改訂における科目設定について、各 WG ごとに検討を始めた。
- ・平成 26 年 1 月 13 日第 47 回教育課程小委員会開催（都立両国高校）。次年度連合大会での地学教育パブリックセッションの準備日程および内容について検討を行った。
- ・平成 26 年 2 月 23 日第 48 回教育課程小委員会開催予定（海城高校）
- ・平成 26 年 3 月第 49 回教育課程小委員会開催予定・平成 25 年 5 月 19 日（日）パブリックセッション「防災教育－災害を乗り越えるために私達が子ども達に教えること 2」を開催。
- ・平成 25 年 8 月 21・22 日の二日間、京都大学防災研究所にて「防災知識の普及に向けた地学教育の現状とその改革」を共催。
- ・平成 25 年 12 月 26・27 日の二日間、東京大学地震研究所にて研究集会開催者と（公社）日本地震学会との共催による東京大学地震研究所共同利用研究集会「地震の研究者と小・中・高等学校教員との連携－地震教育の現状に即した知識普及活動を目指して－」を開催。

#### （４）教員免許更新講習会の開催準備 [定款第 5 条（１）]

先に開催実績のある日本地震学会へ協力をおこなうこととし、教育問題検討委員会のメンバーが講師として参加した。

#### （５）連合大会における「学生優秀発表」の表彰 [定款第 5 条（２）]

学生優秀発表賞は、4 回目の実施であるが、参加セクションは、大気水圏科学、地球人間圏科学、固体地球科学、地球生命科学の 4 セクション、エントリー数は倍増となった。学生の研究のモチベーションと発表技術の向上を掲げたこの賞は、当初の目標を達成して学生の資するところは大きかったと考えられる。また、2014 年大会において、宇宙惑星科学セクションの参加が確定したことから、学生優秀発表賞のシステムの充実を図り、制度の安定的な運営を目的に、WEB システムの増強を行った。

#### ■大気水圏科学セクション

|      |       |         |       |        |
|------|-------|---------|-------|--------|
| 受賞者： | 岡本 功太 | （東京大学）  | 土屋 主税 | （東京大学） |
|      | 高谷 怜  | （東京大学）  | 中野 貴史 | （京都大学） |
|      | 江端 一徳 | （山梨大学）  | 安田 勇輝 | （東京大学） |
|      | 辻野 智紀 | （名古屋大学） |       |        |

#### ■地球人間圏科学セクション

|      |           |                       |       |         |
|------|-----------|-----------------------|-------|---------|
| 受賞者： | Rupprecht | （Griffith University） | 永井 裕人 | （名古屋大学） |
|      | Christoph |                       |       |         |
|      | Mohammad  | （埼玉大学）                | 中村 祐貴 | （東京大学）  |
|      | Rajib     |                       |       |         |

山田 圭太郎 ( 京 都 大 学 )      佐藤 善輝 ( 九 州 大 学 )  
横田 彰宏 ( 日 本 大 学 )

■固体地球科学セクション

受賞者： 青木 将 ( 京 都 大 学 )      大辻 奈穂 ( 新 潟 大 学 )  
竹尾 明子 ( 東 京 大 学 )      仲田 典弘 (コロラドスクール  
オブマインズ)  
安川 和孝 ( 東 京 大 学 )      野村 龍一 ( 東 京 工 業 大 学 )  
仁里 太郎 ( 広 島 大 学 )      田中 良 ( 北 海 道 大 学 )  
菅井 秀翔 ( 東 京 大 学 )      照沢 秀司 ( 東 京 大 学 )  
石毛 康介 ( 北 海 道 大 学 )      尾崎 守 ( 茨 城 大 学 )  
藤井 昌和 ( 東 京 大 学 )      倉富 隆 ( 九 州 大 学 )  
澤井 みち代 ( 広 島 大 学 )      石塚 師也 ( 京 都 大 学 )  
椎名 高裕 ( 東 北 大 学 )      安田 奈央 ( 金 沢 大 学 )  
小林 真大 ( 東 京 大 学 )      吉田 圭佑 ( 東 北 大 学 )  
大石 佑輔 ( 高 知 大 学 )      西脇 隆文 ( 広 島 大 学 )  
白石 智子 ( 愛 媛 大 学 )

■地球生命科学セクション

受賞者： 原田 真理子 ( 東 京 大 学 )      徳永 紘平 ( 広 島 大 学 )  
清水 啓介 ( 東 京 大 学 )

(6) 男女共同参画事業 [定款第5条(6)]

男性女性問わず、共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮できる環境とネットワークを整備することを目的として、地球惑星科学分野ならびに社会の健全な発展に資する活動を行った。当連合に加盟している学会の男女共同参画に関する状況や取り組みの情報交換を行なうとともに、男女研究者間ならびに国際間のワークライフバランスを考えるために、連合大会時に“イクメン”シンポジウムを開催した。このため、キャリア支援委員会とも連携し、会員属性アンケートを共同実施していた。その解析結果については、連合大会時に速報し、学協会連絡会シンポジウムでもポスター発表を行った。

(7) キャリア支援事業 [定款第5条(6)]

現在、特にポストク問題を始め、博士号取得者の就職は社会問題化している。連合では、この問題を重視し、メールニュースを通して、多数の就職情報を流す等、積極的にキャリアパス支援事業を実施した。

(8) 自然災害(風水害、地震、火山、津波、環境)対応 [定款第5条(1)]

風水害、地震、火山、津波などの自然災害の解明と対策への科学的提言は、地球惑星科学の極めて重要な役割である。また、地球温暖化問題に代表される人間社会に起因する環境劣化と持続的社会構築への科学的提言もしかりである。環境災害対応委員会では、地球惑星科学コミュニティをあげて、これらの多様な自然災害への対応を強化すべく、検討を進めた。

## Ⅱ. 処務の状況

### 1. 役員等に関する事項

(1) 公益社団法人第2期会長、理事、幹事

| 役 職   |  |  | 氏 名       |  |  | 所 属                 |  |  |
|-------|--|--|-----------|--|--|---------------------|--|--|
| 会 長   |  |  | 津 田 敏 隆   |  |  | 京 都 大 学             |  |  |
| 副 会 長 |  |  | 川 幡 穂 高   |  |  | 東 京 大 学             |  |  |
|       |  |  | 木 村 学 人   |  |  | 東 京 大 学             |  |  |
|       |  |  | 中 村 正 人   |  |  | 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 |  |  |
| 理 事   |  |  | ウオリス サイモン |  |  | 名 古 屋 大 学           |  |  |
|       |  |  | 小 口 高 史   |  |  | 東 京 大 学             |  |  |
|       |  |  | 奥 村 晃 史   |  |  | 広 島 大 学             |  |  |
|       |  |  | 北 和 之 志   |  |  | 茨 城 大 学             |  |  |
|       |  |  | 古 村 孝 志   |  |  | 東 京 大 学             |  |  |
|       |  |  | 佐 藤 薫     |  |  | 東 京 大 学             |  |  |
|       |  |  | 杉 田 倫 明   |  |  | 筑 波 大 学             |  |  |
|       |  |  | 瀧 上 豊     |  |  | 関 東 学 園 大 学         |  |  |
|       |  |  | 竹 村 恵 二   |  |  | 京 都 大 学             |  |  |
|       |  |  | 田 近 英 一   |  |  | 東 京 大 学             |  |  |
|       |  |  | 成 瀬 元 嗣   |  |  | 京 都 大 学             |  |  |
|       |  |  | 西 弘 正 恒   |  |  | 東 北 大 学             |  |  |
|       |  |  | 畠 山 洋 三   |  |  | 聖 光 学 院 中 学 高 等 学 校 |  |  |
|       |  |  | 浜 野 淳 一   |  |  | 海 洋 研 究 開 発 機 構     |  |  |
|       |  |  | 松 本 誠 一   |  |  | 首 都 大 学 東 京 学       |  |  |
|       |  |  | 渡 邊 充 宏   |  |  | 名 古 屋 大 学           |  |  |
| 監 事   |  |  | 松 浦 善 和   |  |  |                     |  |  |
|       |  |  | 鈴 木       |  |  |                     |  |  |

(2) 公益社団法人第2期（平成24年度）社員

個人96名

（定款第11条 代議員の定数は、80名以上200名以内に社員総会において別に定める数とする。）

宇宙惑星科学選出 15名

|                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 大村 善治（京 都 大 学）   | 中村 正人（宇宙航空研究開発機構）  |
| 小嶋 浩嗣（京 都 大 学）   | 中本 泰史（東 京 工 業 大 学） |
| 佐々木 晶（国 立 天 文 台） | 藤井 良一（名 古 屋 大 学）   |
| 高橋 幸弘（北 海 道 大 学） | 藤本 正樹（宇宙航空研究開発機構）  |
| 田近 英一（東 京 大 学）   | 坂本 尚義（北 海 道 大 学）   |
| 長妻 努（情報通信研究機構）   | 渡部 潤一（国 立 天 文 台）   |
| 永原 裕子（東 京 大 学）   | 渡邊誠一郎（名 古 屋 大 学）   |
| 中村 昭子（神 戸 大 学）   |                    |

大気水圏科学選出 18名

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 大手 信人（東 京 大 学）   | 知北 和久（北 海 道 大 学） |
| 沖 理子（宇宙航空研究開発機構） | 津田 敏隆（京 都 大 学）   |
| 河宮 未知生（海洋研究開発機構） | 角皆 潤（北 海 道 大 学）  |
| 北 和之（茨 城 大 学）    | 中島 映至（東 京 大 学）   |
| 近藤 豊（東 京 大 学）    | 花輪 公雄（東 北 大 学）   |
| 佐藤 薫（東 京 大 学）    | 原田 尚美（海洋研究開発機構）  |

杉田 倫明 ( 筑 波 大 学 )  
 鈴木 啓助 ( 信 州 大 学 )  
 田中 博 ( 筑 波 大 学 )

日比谷紀之 ( 東 京 大 学 )  
 真木 雅之 ( 防災科学技術研究所 )  
 吉田 尚弘 ( 東 京 工 業 大 学 )

#### 地球人間圏科学選出 13 名

荒井 良雄 ( 東 京 大 学 )  
 碓井 照子 ( 奈 良 大 学 )  
 小口 高 ( 東 京 大 学 )  
 小口 千明 ( 埼 玉 大 学 )  
 奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )  
 海津 正倫 ( 奈 良 大 学 )  
 佐竹 健治 ( 東 京 大 学 )

須貝 俊彦 ( 東 京 大 学 )  
 鈴木 毅彦 ( 首 都 大 学 東 京 )  
 島津 弘 ( 立 正 大 学 )  
 春山 成子 ( 三 重 大 学 )  
 氷見山幸夫 ( 北 海 道 教 育 大 学 )  
 松本 淳 ( 首 都 大 学 東 京 )

#### 固体地球科学選出 29 名

吾妻 崇 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 石渡 明 ( 東 北 大 学 )  
 岩森 光 ( 東 京 工 業 大 学 )  
 入船 徹男 ( 愛 媛 大 学 )  
 ウオリス サイモン ( 名 古 屋 大 学 )  
 歌田 久司 ( 東 京 大 学 )  
 大谷 栄治 ( 東 北 大 学 )  
 鍵 裕之 ( 東 京 大 学 )  
 加藤 照之 ( 東 京 大 学 )  
 金嶋 聰 ( 九 州 大 学 )  
 川勝 均 ( 東 京 大 学 )  
 木村 学 ( 東 京 大 学 )  
 古村 孝志 ( 東 京 大 学 )  
 鈴木 勝彦 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 竹村 恵二 ( 京 都 大 学 )

田中 愛幸 ( 東 京 大 学 )  
 谷岡勇市郎 ( 北 海 道 大 学 )  
 田部井隆雄 ( 高 知 大 学 )  
 中田 節也 ( 東 京 大 学 )  
 成瀬 元 ( 京 都 大 学 )  
 西村 裕一 ( 北 海 道 大 学 )  
 浜野 洋三 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 深畑 幸俊 ( 京 都 大 学 )  
 藤井 敏嗣 ( 環 境 防 災 総 合 政 策 研 究 機 構 )  
 古屋 正人 ( 北 海 道 大 学 )  
 松澤 暢 ( 東 北 大 学 )  
 宮崎 一博 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 宮下 純夫 ( 新 潟 大 学 )  
 山崎 俊嗣 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )

#### 地球生命科学選出 9 名

井龍 康文 ( 名 古 屋 大 学 )  
 遠藤 一佳 ( 東 京 大 学 )  
 大河内直彦 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 掛川 武 ( 東 北 大 学 大 学 院 )  
 川幡 穂高 ( 東 京 大 学 )

北里 洋 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 北村 晃寿 ( 静 岡 大 学 )  
 西 弘嗣 ( 東 北 大 学 )  
 真鍋 真 ( 国 立 科 学 博 物 館 )

#### 地球惑星科学総合選出 12 名

阿部 國廣 ( 無 し )  
 熊谷 英憲 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 古宇田亮一 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 佐野 有司 ( 東 京 大 学 )  
 芝川 明義 ( 大 阪 府 立 花 園 高 等 学 校 )  
 瀧上 豊 ( 関 東 学 園 大 学 )

中川 貴司 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 畠山 正恒 ( 聖 光 学 院 中 学 高 等 学 校 )  
 宮嶋 敏 ( 埼 玉 県 立 深 谷 第 一 高 等 学 校 )  
 矢島 道子 ( 地 質 情 報 整 備 ・ 活 用 機 構 )  
 山本 高司 ( 川 崎 地 質 ( 株 ) )  
 横山 広美 ( 東 京 大 学 )



## 団体会員 50

|           |               |               |
|-----------|---------------|---------------|
| 日本宇宙生物科学会 | 生態工学会         | 日本地熱学会        |
| 日本応用地質学会  | 生命の起原および進化学会  | 地理科学学会        |
| 日本温泉科学会   | 石油技術協会        | 日本地理学会        |
| 日本海洋学会    | 日本雪氷学会        | 日本地理教育学会      |
| 日本火山学会    | 日本測地学会        | 地理教育研究会       |
| 形の科学会     | 大気化学研究会       | 地理情報システム学会    |
| 日本活断層学会   | 日本大気電気学会      | 東京地学協会        |
| 日本気象学会    | 日本堆積学会        | 東北地理学会        |
| 日本鉱物科学会   | 日本第四紀学会       | 土壌物理学会        |
| 日本国際地図学会  | 日本地学教育学会      | 日本粘土学会        |
| 日本古生物学会   | 地学団体研究会       | 日本農業気象学会      |
| 日本沙漠学会    | 日本地下水学会       | 物理探査学会        |
| 資源地質学会    | 日本地球化学会       | 日本陸水学会        |
| 日本地震学会    | 地球環境史学会       | 陸水物理研究会       |
| 日本情報地質学会  | 地球電磁気・地球惑星圏学会 | 日本リモートセンシング学会 |
| 日本水文科学会   | 日本地形学連合       | 日本惑星科学会       |
| 水文・水資源学会  | 日本地質学会        |               |

## (3) セクションボード

### 宇宙惑星科学セクション

|                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 大村 善治 ( 京 都 大 学 )   | 中村 昭子 (宇宙航空研究開発機構)    |
| 佐々木 晶 ( 国 立 天 文 台 ) | 中村 正人 (宇宙航空研究開発機構)    |
| 高橋 幸弘 ( 北 海 道 大 学 ) | 中本 泰史 ( 東 京 工 業 大 学 ) |
| 小嶋 浩嗣 ( 京 都 大 学 )   | 藤井 良一 ( 名 古 屋 大 学 )   |
| 田近 英一 ( 東 京 大 学 )   | 藤本 正樹 (宇宙航空研究開発機構)    |
| 常田 佐久 ( 国 立 天 文 台 ) | 塚本 尚義 ( 北 海 道 大 学 )   |
| 長妻 努 (情報通信研究機構)     | 渡部 潤一 ( 国 立 天 文 台 )   |
| 永原 裕子 ( 東 京 大 学 )   | 渡邊誠一郎 ( 名 古 屋 大 学 )   |

### 大気水圏科学セクション

|                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 中島 映至 ( 東 京 大 学 )  | 多田 隆治 ( 東 京 大 学 )    |
| 杉田 倫明 ( 筑 波 大 学 )  | 知北 和久 ( 北 海 道 大 学 )  |
| 川合 義美 (海洋研究開発機構)   | 花輪 公雄 ( 東 北 大 学 )    |
| 沖 理子 (宇宙航空研究開発機構)  | 日比谷紀之 ( 東 京 大 学 )    |
| 神沢 博 ( 名 古 屋 大 学 ) | 松本 淳 ( 首 都 大 学 東 京 ) |
| 鬼頭 昭雄 ( 気 象 庁 )    | 村山 泰啓 (情報通信研究機構)     |
| 近藤 豊 ( 東 京 大 学 )   |                      |

### 地球人間圏科学セクション

|                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 氷見山幸夫 ( 北 海 道 教 育 大 学 ) | 小口 千明 ( 埼 玉 大 学 )     |
| 佐竹 健治 ( 東 京 大 学 )       | 後藤 和久 ( 東 北 大 学 )     |
| 春山 成子 ( 三 重 大 学 )       | 近藤 昭彦 ( 千 葉 大 学 )     |
| 島津 弘 ( 立 正 大 学 )        | 須貝 俊彦 ( 東 京 大 学 )     |
| 荒井 良雄 ( 東 京 大 学 )       | 鈴木 毅彦 ( 首 都 大 学 東 京 ) |
| 井田 仁康 ( 筑 波 大 学 )       | 鈴木 康弘 ( 名 古 屋 大 学 )   |
| 碓井 照子 ( 三 重 大 学 )       | 千木良雅弘 ( 京 都 大 学 )     |
| 海津 正倫 ( 東 京 大 学 )       | 藤原 広行 (防災科学技術研究所)     |
| 岡本 耕平 ( 名 古 屋 大 学 )     | 松本 淳 ( 首 都 大 学 東 京 )  |
| 奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )       | 渡辺 悌二 ( 北 海 道 大 学 )   |

小口 高 ( 東 京 大 学 )

#### 固体地球科学セクション

大谷 栄治 ( 東 北 大 学 )  
歌田 久司 ( 東 京 大 学 )  
木村 純一 (海洋研究開発機構)  
入舩 徹男 ( 愛 媛 大 学 )  
岩森 光 ( 東京工業大学 )  
ウオリス サイモン ( 名 古 屋 大 学 )  
大久保修平 ( 東 京 大 学 )  
金川 久一 ( 千 葉 大 学 )  
唐戸俊一郎 ( イ ェ ー ル 大 学 )  
川勝 均 ( 東 京 大 学 )  
サティッシュ クマール マドスーダン

鈴木 勝彦 (海洋研究開発機構)  
田中 聡 (海洋研究開発機構)  
中川 光弘 ( 北 海 道 大 学 )  
中田 節也 ( 東 京 大 学 )  
成瀬 元 ( 京 都 大 学 )  
西山 忠男 ( 熊 本 大 学 )  
古村 孝志 ( 東 京 大 学 )  
日置 幸介 ( 北 海 道 大 学 )  
松澤 暢 ( 東 北 大 学 )  
道林 克禎 ( 静 岡 大 学 )  
( 新 潟 大 学 )

#### 地球生命科学セクション

北里 洋 (海洋研究開発機構)  
小林 憲正 ( 横 浜 国 立 大 学 )  
川幡 穂高 ( 東 京 大 学 )  
生形 貴男 ( 静 岡 大 学 )  
高野 淑識 (海洋研究開発機構)  
稲垣 史生 (海洋研究開発機構)  
遠藤 一佳 ( 東 京 大 学 )

大河内直彦 (海洋研究開発機構)  
鈴木 庸平 ( 東 京 大 学 )  
奈良 岡浩 ( 九 州 大 学 )  
西 弘嗣 ( 東 北 大 学 )  
真鍋 真 ( 国立科学博物館 )  
山岸 明彦 ( 東 京 薬 科 大 学 )

#### (4) 委員会等

##### 総務委員会

古村 孝志 ( 東 京 大 学 )  
大村 善治 ( 京 都 大 学 )  
中村 正人 (宇宙航空研究開発機構)  
近藤 忠 ( 大 阪 大 学 )  
棚部 一成 ( 東 京 大 学 )  
西村 浩一 ( 名 古 屋 大 学 )  
平田 岳史 ( 京 都 大 学 )  
川合 義美 (海洋研究開発機構)

成瀬 元 ( 京 都 大 学 )  
吉田 武 ( 東 北 大 学 )  
岩上 直幹 ( 東 京 大 学 )  
篠原 雅尚 ( 東 京 大 学 )  
中島 健介 ( 九 州 大 学 )  
野村 文明 (株式会社クレアリア)  
大湊 隆雄 ( 東 京 大 学 )  
掛川 武 ( 東 北 大 学 )

##### 財務委員会

西 弘嗣 ( 東 北 大 学 )  
北 和之 ( 茨 城 大 学 )  
山田 泰広 ( 京 都 大 学 )

向山 栄 ( 国際航業株式会社 )  
高野 修 ( 石油資源開発株式会社 )

##### 広報普及委員会

田近 英一 ( 東 京 大 学 )  
杉田 倫明 ( 筑 波 大 学 )  
阿部 彩子 ( 東 京 大 学 )  
内山 高 (山梨県環境科学研究所)  
大河内直彦 (海洋研究開発機構)  
梶井 克純 ( 京 都 大 学 )  
久利 美和 ( 東 北 大 学 )  
斉藤 眞 (産業技術総合研究所)

松本 淳 ( 首都大学東京 )  
原 辰彦 ( 建 築 研 究 所 )  
安藤 寿男 ( 茨 城 大 学 )  
大木 聖子 (東京大学地震研究所)  
奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )  
川合 義美 (海洋研究開発機構)  
黒石 裕樹 ( 国 土 地 理 院 )  
高橋 幸弘 ( 北 海 道 大 学 )

瀧上 豊 ( 関 東 学 園 大 学 )  
 谷 篤史 ( 大 阪 大 学 )  
 東宮 昭彦 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 西尾 文彦 ( 千 葉 大 学 )  
 水垣 桂子 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 山田 耕 ( 早 稲 田 大 学 )  
 吉本 和生 ( 横 浜 市 立 大 学 )  
 若林 芳樹 ( 首 都 大 学 東 京 )

橘 省吾 ( 北 海 道 大 学 )  
 辻村 真貴 ( 筑 波 大 学 )  
 成瀬 元 ( 京 都 大 学 )  
 氷見山幸夫 ( 北 海 道 教 育 大 学 )  
 宮本 英昭 ( 東 京 大 学 )  
 横山 広美 ( 東 京 大 学 )  
 渡辺 俊樹 ( 名 古 屋 大 学 )

#### 環境・災害対応委員

松本 淳 ( 首 都 大 学 東 京 )  
 木村 学 ( 東 京 大 学 )  
 後藤 和久 ( 東 北 大 学 )  
 小田 啓邦 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 中村 尚 ( 東 京 大 学 )  
 石峯 康浩 ( 国 立 保 健 医 療 科 学 研 究 院 )  
 小荒井 衛 ( 国 土 地 理 院 )  
 黒木 貴一 ( 福 岡 教 育 大 学 )  
 松島 大 ( 千 葉 工 業 大 学 )  
 柳澤 教雄 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 大塚 康範 ( 応 用 地 質 ( 株 ) )  
 加藤 俊吾 ( 首 都 大 学 東 京 )  
 吾妻 崇 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 田力 正好 ( 地 震 予 知 総 合 研 究 振 興 会 )  
 陶野 郁雄 ( 国 立 環 境 研 究 所 )  
 中村 洋一 ( 宇 都 宮 大 学 )  
 吉川 顕正 ( 九 州 大 学 )

奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )  
 後藤真太郎 ( 立 正 大 学 )  
 後藤 秀昭 ( 広 島 大 学 )  
 宇根 寛 ( 国 土 地 理 院 )  
 石原 正仁 ( 京 都 大 学 )  
 西村 浩一 ( 名 古 屋 大 学 )  
 近藤 昭彦 ( 千 葉 大 学 )  
 真木 雅之 ( 防 災 科 学 技 術 研 究 所 )  
 村山 良之 ( 山 形 大 学 )  
 大野 博之 ( ( 株 ) 環 境 地 質 )  
 榊原 正幸 ( 愛 媛 大 学 )  
 須貝 俊彦 ( 東 京 大 学 )  
 田所 敬一 ( 名 古 屋 大 学 )  
 林 武司 ( 秋 田 大 学 )  
 卜部 厚志 ( 新 潟 大 学 )  
 川畑 大作 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )

#### 男女共同参画委員会

竹村 恵二 ( 京 都 大 学 )  
 小口 千明 ( 埼 玉 大 学 )  
 小川 佳子 ( 会 津 大 学 )  
 坂野井和代 ( 駒 澤 大 学 )  
 阿部 隆 ( 日 本 女 子 大 学 )  
 清野 直子 ( 気 象 研 究 所 )  
 山野 誠 ( 東 京 大 学 )  
 天野 敦子 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 佐々木 緑 ( 広 島 修 道 大 学 )  
 堀 利栄 ( 愛 媛 大 学 )  
 渡邊真紀子 ( 首 都 大 学 東 京 )  
 紺屋 恵子 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 前田佐和子 ( 京 都 女 子 大 学 )  
 宋 苑瑞 ( 東 京 大 学 )  
 鎌谷 紀子 ( 気 象 大 学 校 )

中村 正人 ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 )  
 坂野井 健 ( 東 北 大 学 )  
 富樫 茂子 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 吉田 武義 ( 東 北 大 学 )  
 大湊 隆雄 ( 東 京 大 学 地 震 研 究 所 )  
 田島 文子 ( ミ ュ ン ヘ ン 大 学 )  
 藪崎 志穂 ( 福 島 大 学 )  
 土屋 範芳 ( 東 北 大 学 )  
 楊 宋興 ( 東 京 農 工 大 学 )  
 川合 義美 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 村山 祐司 ( 筑 波 大 学 )  
 新井真由美 ( 日 本 科 学 未 来 館 )  
 若狭 幸 ( 筑 波 大 学 )

#### キャリア支援委員会

佐藤 薫 ( 東 京 大 学 )  
 坂野井和代 ( 駒 澤 大 学 )  
 高橋 幸弘 ( 北 海 道 大 学 )  
 伊藤 谷生 ( 帝 京 平 成 大 学 )  
 榎森 啓元 ( 秀 明 大 学 )

栗田 敬 ( 東 京 大 学 )  
 市原 美恵 ( 東 京 大 学 )  
 渡辺誠一郎 ( 名 古 屋 大 学 )  
 浜野 洋三 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 小口 千明 ( 埼 玉 大 学 )

北里 洋 (海洋研究開発機構)  
 佐藤 英人 (帝京大学)  
 大石哲 (神戸大学)  
 橘 省吾 (北海道大学)  
 富樫 茂子 (産業技術総合研究所)  
 藤光 康宏 (九州大学)  
 山田 耕 (早稲田大学)  
 渡辺 秀文 (東京都総務局総合防災部)

佐々木和彦 (応用地質株式会社)  
 末吉 哲雄 (海洋研究開発機構)  
 田近 英一 (東京大学)  
 津野 宏 (横浜国立大学)  
 永原 裕子 (東京大学)  
 松山 洋 (首都大学東京)  
 渡邊公一郎 (九州大学)

#### 教育問題検討委員会

畠山 正恒 (聖光学院中学高等学校)  
 根本 泰雄 (桜美林大学)  
 瀧上 豊 (関東学園大学)  
 中井 睦美 (大東文化大学)  
 高橋 栄一 (東京工業大学)  
 奥野 誠 (東京大学)  
 島田 浩二 (東京海洋大学)  
 萬年 一剛 (神奈川県温泉地学研究所)  
 廣内 大助 (信州大学)  
 西木 敏夫 (目白学園)  
 藤本光一郎 (東京学芸大学)  
 伊東 明彦 (宇都宮大学)  
 坂本 正徳 (國學院大學)  
 近藤 昭彦 (千葉大学)  
 三田 肇 (福岡工業大学)  
 納口 恭明 (防災科学技術研究所)  
 松本 剛 (琉球大学)  
 伊藤 孝 (茨城大学)  
 南島 正重 (両国高等学校)  
 久津間文隆 (川越初雁高校)  
 津野 宏 (横浜国立大学)  
 島津 弘 (立正大学)  
 大谷 具幸 (岐阜大学)  
 滝沢由美子 (帝京大学)  
 海東 達也 (都立竹早高校)  
 西城 潔 (宮城教育大学)  
 林 陽生 (筑波大学)  
 三ヶ田 均 (京都大学)  
 濱田 浩美 (千葉大学)  
 佐々木 晶 (国立天文台)  
 鈴木 文二 (春日部女子高等学校)  
 山下 敏 (熊谷女子高等学校)

渡邊誠一郎 (名古屋大学)  
 阿部 國廣 (無し)  
 宮嶋 敏 (深谷第一高等学校)  
 中井 仁 (茨木工科高等学校)  
 大村 善治 (京都大学)  
 武田 和久 (株開発設計コンサルタント)  
 吉本 充宏 (北海道大学)  
 松浦 執 (東海大学)  
 赤井 純治 (新潟大学)  
 間嶋 隆一 (横浜国立大学)  
 宮下 敦 (成蹊中学校・高等学校)  
 山野 誠 (東京大学)  
 辻村 真貴 (筑波大学)  
 新井真由美 (日本科学未来館)  
 佐溝 信幸 (無し)  
 里村 幹夫 (静岡大学)  
 林田佐智子 (奈良女子大学)  
 加藤 禎夫 (松山高等学校)  
 林 慶一 (甲南大学)  
 宮岡 邦任 (三重大学)  
 藤 浩明 (京都大学)  
 芝川 明義 (花園高等学校)  
 前杵 英明 (広島大学)  
 竹内 裕一 (千葉大学)  
 谷 謙二 (埼玉大学)  
 山崎 淳司 (早稲田大学)  
 松島 潤 (東京大学)  
 山田 伸之 (福岡教育大学)  
 宮崎 忠國 (東京農業大学)  
 縣 秀彦 (国立天文台)  
 小寺 浩二 (法政大学)  
 小川 康雄 (東京工業大学)

#### 情報システム委員会

小口 高 (東京大学)  
 今西 和俊 (産業技術総合研究所)  
 古村 孝志 (東京大学)  
 西田 究 (東京大学)  
 高木 哲一 (産業技術総合研究所)  
 金田平太郎 (千葉大学)  
 宮越 昭暢 (産業技術総合研究所)  
 清水 久芳 (東京大学)

西村 光史 (東洋大学)  
 篠原 育 (宇宙航空研究開発機構)  
 坂口 有人 (海洋研究開発機構)  
 黒沢 正紀 (筑波大学)  
 前野 深 (東京大学)  
 三河内 岳 (東京大学)  
 鍵 裕之 (東京大学)  
 中山 大地 (首都大学東京)

柳澤 教雄 (産業技術総合研究所)  
 財城真寿美 (成蹊大学)  
 濱田 浩美 (千葉大学)  
 近藤 康久 (東京工業大学)

熊原 康博 (群馬大学)  
 小寺 浩二 (法政大学)  
 笠井 康子 (通信総合研究所)

#### 学術出版委員会

石井 守 (情報通信研究機構)  
 小口 高 (東京大学)  
 宮本 英昭 (東京大学)  
 井龍 康文 (名古屋大学)

村上 隆 (東京大学)  
 田近 英一 (東京大学)  
 大谷 栄治 (東北大学)

#### 大会運営委員会

浜野 洋三 (海洋研究開発機構)  
 岩上 直幹 (東京大学)  
 中村 昭子 (神戸大学)  
 竹内 望 (千葉大学)  
 小嶋 浩嗣 (京都大学)  
 近藤 昭彦 (千葉大学)  
 鈴木 庸平 (東京大学)  
 河宮 未知生 (海洋研究開発機構)  
 目代 邦康 (自然保護助成基金)  
 村山 泰啓 (情報通信研究機構)  
 篠原 育 (宇宙航空研究開発機構)  
 西村 光史 (東洋大学)  
 西田 究 (東大地震研究所)

北 和之 (茨城大学)  
 高橋 幸弘 (北海道大学)  
 財城真寿美 (成蹊大学)  
 興野 純 (筑波大学)  
 知北 和久 (北海道大学)  
 金川 久一 (千葉大学)  
 中本 泰史 (東京工業大学)  
 黒澤 正紀 (筑波大学)  
 井出 哲 (東京大学)  
 今西 和俊 (産業技術総合研究所)  
 坂口 有人 (海洋研究開発機構)

#### 国際学術委員会

ウォリス サイモン (名古屋大学)  
 石渡 明 (東北大学)  
 村山 泰啓 (情報通信研究機構)  
 木村 学 (東京大学)  
 大村 善治 (京都大学)  
 春山 成子 (三重大学)  
 小林 憲正 (横浜国立大学)

藤本 正樹 (宇宙航空研究開発機構)  
 加藤 照之 (東京大学)  
 藤田 英輔 (防災科学技術研究所)  
 大谷 栄治 (東北大学)  
 多田 隆治 (東京大学)  
 遠藤 一佳 (東京大学)  
 田島 文子 (LMU ミュンヘン大学)

#### フェロー審査委員会

(フェロー審査委員会規則第6条に基づき web 掲載時点では委員名を非公開とする)

## 2. 役員会等に関する事項

### (1) 平成25年定期社員総会

平成25年5月22日(水) 19:00~20:00、幕張メッセ国際会議場 203号室において開催。

次の議案が付議され、原案通り承認された。

| 開催月日  | 議 事 事 項                                                 |          |
|-------|---------------------------------------------------------|----------|
| 5月22日 | 第1号議案 平成24年度(公益社団法人第2期)決算承認の件<br>第2号議案 役員候補者推薦委員会委員選任の件 | 承認<br>承認 |

## (2) 理事会

7回開催した。主要決議事項は以下の通りである。

| 開催月日                        | 議 事 事 項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                               |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 25 年<br>5 月 20 日 (第 1 回) | 第1号議案 総会議事承認の件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 承認                                                                                            |
| 5 月 22 日 (第 2 回)            | 第1号議案 代表理事（会長）、業務執行理事及び副会長選定の件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 承認                                                                                            |
| 7 月 30 日 (第 3 回)            | 第1号議案 会員入会承認の件<br>第2号議案 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金設定の件<br>第3号議案 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金取り扱い規則制定の件<br>第4号議案 基本財産積み増し検討の件<br>第5号議案 連合大会システム改修の件<br>第6号議案 連合大会の記念行事の開催の件<br>第7号議案 フェロー制度について<br>第8号議案 科学研究費補助金における国内出張旅費規則および外国出張旅費規則の改定の件<br>第9号議案 選挙管理委員会メンバー選任の件<br>第10号議案 選挙日程承認の件<br>第11号議案 国際地理オリンピック支援の件<br>第12号議案 事務局職員労働条件通知書の承認の件<br>第13号議案 今後の国際戦略の件（継続審議）<br>第14号議案 大型プロジェクト「日本版NIH」に対する提言の件       | 承認<br>承認<br>承認<br><br>見送り<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br><br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>継続審議<br>継続審議 |
| 10 月 11 日 (第 4 回)           | 第1号議案 2014連合大会準備の件<br>第2号議案 フェロー制度について<br>第3号議案 AOGS2014への対応<br>第4号議案 固体地球科学セクション小委員会設置の件<br>第5号議案 科学研究費補助金における国内出張旅費および外国出張旅費規則の改定の件<br>第6号議案 学協会長会議の準備<br>第7号議案 会員（正会員）入会承認の件<br>第8号議案 夢ロードマップ改定の件<br>第9号議案 2015年連合大会のGSA共同開催について<br>第10号議案 JpGU学生優秀発表賞改革                                                                                                                                        | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br><br>承認<br>承認<br>承認<br>継続審議<br>承認                                |
| 12 月 19 日 (第 5 回)           | 第1号議案 会員（正会員）入会承認の件<br>第2号議案 平成26年度事業計画・予算書作成について<br>第3号議案 平成25年度事業報告所・決算書作成について<br>第4号議案 国際化推進資金（仮称）設立の件<br>第5号議案 フェロー制度規則変更の件<br>第6号議案 法人運営基本規程変更の件<br>第7号議案 法人運営基本規則変更の件<br>第8号議案 代議員選挙規則変更の件<br>第9号議案 代議員選挙実施細則変更の件<br>第10号議案 セクションプレジデント選挙規則および実施細則制定<br>第11号議案 SEDI2014 国際シンポジウム共催の件<br>第12号議案 共催・協賛・後援承認申請書書式変更の件<br>第13号議案 学術会議・連合共催ユニオンセッション開催の件<br>第14号議案 懇親会実施要綱の件<br>第15号議案 記念式典次第について | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認        |
| 平成 26 年<br>2 月 1 日 (第 6 回)  | 第 1号議案 会員（正会員）入会承認の件<br>第 2号議案 2014年横浜大会NASA招致に関わる旅費交付の件<br>第 3号議案 国際対応方針の件(AOGSとのMOUについて)<br>第 4号議案 特定費用準備資金「日本地球惑星科学連合大会行事開催                                                                                                                                                                                                                                                                     | 承認<br>承認<br>承認<br>承認                                                                          |



### 3. 関連団体との連携及び協力に関する事項

#### ・共催・協賛・後援等

| 承認日    | 種別 | 会合名等                                                                | 開催時期・会場                                                |
|--------|----|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 4月9日   | 協賛 | 第54回高圧討論会                                                           | 2013年11月14日～16日<br>朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター                 |
| 4月18日  | 後援 | 科学教育研究協議会・第60回全国研究大会・岩手大会                                           | 2013年8月2日～4日<br>専修大学北上高等学校                             |
| 5月7日   | 協賛 | 日本地質学会第120年学術大会（仙台大会）巡検                                             | 2013年9月13日、14日、17日、18日<br>宮城県仙台市など13コース                |
| 5月16日  | 共催 | Goldschmidt Conference 2016                                         | 2016年6月26日～7月1日<br>横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）                  |
| 6月22日  | 協賛 | 女子中高生夏の学校 2013～科学・技術者のたまごたちへ～                                       | 2013年8月8日～10日<br>国立女性教育会館                              |
| 7月29日  | 協賛 | ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム（HPCS2013）                             | 2014年1月7日～8日<br>学術総合センター一橋記念講堂                         |
| 11月5日  | 共催 | 日本学術会議公開シンポジウム 増大する災害と地球環境問題に地球人間圏科学はどう取り組むか？                       | 2013年12月5日<br>日本学術会議講堂                                 |
| 12月17日 | 後援 | 東京大学地震研究所 2013年度研究集会「地震の研究者と小・中・高等学校教員との連携－地震教育の現状に即した知識普及活動を日指して－」 | 2013年12月～27日<br>東京大学地震研究所                              |
| 12月19日 | 共催 | SEDI2014 国際シンポジウム                                                   | 2014年8月3日～8日<br>湘南国際村センター                              |
| 12月26日 | 協賛 | 未来を拓く高圧力科学技術セミナーシリーズ(39)「高圧力と分光測定技術」                                | 2014年3月26日<br>日本大学文理学部世田谷キャンパス内<br>コンピューターセンターオーバル・ホール |
| 1月15日  | 協賛 | 第19回計算工学講演会                                                         | 2014年6月11日～13日<br>広島国際会議場                              |
| 1月16日  | 協賛 | 物構研サイエンスフェスタ 2013                                                   | 2014年3月18日～19日<br>つくば国際会議場（エポカルつくば）                    |
| 1月21日  | 後援 | 地震・自然災害のための測地学国際シンポジウム（GENAH2014）                                   | 2014年7月22日～26日<br>宮城県松島市 ホテル大観荘                        |
| 3月5日   | 後援 | 科学教育研究協議会・第61回全国研究大会・東京大会                                           | 2014年8月2日～4日<br>正則高等学校および芝中学校・高等学校                     |

#### ・サポートレターの発行

なし

#### ・声明文・談話の発表

なし



#### 4. 登記、申請等に関する事項

| 申請先 | 申請日              | 完了日      | 内 容                                         |
|-----|------------------|----------|---------------------------------------------|
| 特許庁 | 平成 25 年 9 月 19 日 | 3 月 20 日 | 「PEPS」商標登録<br>第 9 類 「電子出版物」<br>第 16 類 「印刷物」 |

#### 5. 職員に関する事項

| 勤務形態    | 当期末<br>(平成 26 年 3 月末) | 前期末比増減 | 備考                                                                                                                                           |
|---------|-----------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| フルタイム   | 2 名                   | 1 名    | 杉村 洋平<br>(平成 25 年 4 月 1 日採用)                                                                                                                 |
| 週 4 日勤務 | 2 名                   | 1 名    | 浅田 智世 (ジャーナル担当)<br>(平成 25 年 8 月 19 日採用)                                                                                                      |
| 週 2 日勤務 | 3 名                   | 0 名    |                                                                                                                                              |
| 週 1 日勤務 | 3 名                   | 3 名    | 田村 寿恵 (ジャーナル担当)<br>(平成 25 年 9 月 9 日採用)<br>黒柳あずみ (       "       )<br>(平成 25 年 11 月 1 日採用)<br>内田 里香 (       "       )<br>(平成 25 年 12 月 1 日採用) |
| 合 計     | 10 名                  | 5 名    |                                                                                                                                              |

#### 6. その他

##### ジャーナル発行に関する事項

- ・平成25年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）「国際情報発信強化」オープンアクセス刊行支援の交付を受けた。
- ・ジャーナル出版部の事務所を東京都文京区弥生2-4-16学会センタービル5階に開設した。

##### 特定費用準備資金、25周年記念事業開催に関する事項

- ・特定費用準備資金「日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金」を1200万円計上し、25周年記念行事開催事業に向け、今後3年間の計画的な支出を定める規則を制定した。その内、当年は300万円を取り崩し使用した。当初予定していた積み立て限度額のシステム改修費用400万円のうちの一部を、印刷製本費（25周年記念パンフレット作成等）および委託費（フェローメダル製作費など）に変更したが、積み立て限度額、および活動の内容に変更はない。
- ・25周年記念行事開催事業の一環とし、今年度は、記念パンフレット作成、フェロー制度を制定し、2014年連合大会の会期中の記念式典の開催と、第1回フェロー表彰式・懇親会開催の準備を行った。また、大会システムの見直しを行い、必要なシステム増強および改修を行った。

##### 特定費用準備資金、国際化推進に関する事項

- ・特定費用準備資金「日本地球惑星科学連合国際化推進資金」を900万円計上し、地球惑星科学にかかわる外国学協会との連携強化、共同プロジェクトの企画・推進に向け、一層の活動強化に努めることとした。これに伴い、「日本地球惑星科学連合国際化推進資金規則」を制定した。その内、次年度には、外国学協会との連携強化、及び海外広報活動などに390万円を充てる。また、現在の国際学術委員会を「グローバル戦略委員会」と改名し、連合のグローバル化戦略の強化をはかることとした。

##### 代議員選挙・セクションプレジデント選挙に関する事項

- ・選挙管理委員会を組織し、代議員選挙・セクションプレジデント選挙を以下の日程で行った。開票結果詳細は、日本地球惑星科学連合ホームページに掲載した。

## 選挙管理委員名簿

|       |           |
|-------|-----------|
| 砂村 倫成 | 東京大学      |
| 行松 彰  | 国立極地研究所   |
| 川村 賢二 | 国立極地研究所   |
| 坪本 裕之 | 首都大学東京    |
| 篠原 雅尚 | 東京大学地震研究所 |
| 浜田 盛久 | 海洋研究開発機構  |

## 代議員選挙日程

|               |                  |
|---------------|------------------|
| 代議員選挙公示       | 平成25年 8月 2日 (金)  |
| 代議員選挙立候補等受付開始 | 平成25年 8月13日 (火)  |
| 代議員選挙立候補等受付締切 | 平成25年 9月12日 (木)  |
| 代議員選挙投票開始     | 平成25年 9月26日 (木)  |
| 代議員選挙投票締切     | 平成25年 10月25日 (金) |
| 代議員選挙開票、結果報告  | 平成25年 11月 1日 (金) |

## 代議員選挙定数

有権者総数 7759 名  
 投票総数 1683 名 (投票率23.3%)  
 代議員選出総数 98名  
   宇宙惑星科学 : 15名  
   大気水圏科学 : 19名  
   地球人間圏科学 : 13名  
   固体地球科学 : 30名  
   地球生命科学 : 10名 (定員と立候補者が同数のため、無投票で当選が決定)  
   地球惑星科学総合 : 11名

2013 年代議員選挙選出代議員 (98 名) 任期 : 2014 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

### ■宇宙惑星科学セクション選出 15 名

|                |                    |
|----------------|--------------------|
| 小久保英一郎 (国立天文台) | 橘 省吾 (北海道大学)       |
| 大村 善治 (京都大学)   | 永原 裕子 (東京大学)       |
| 草野 完也 (名古屋大学)  | 長妻 努 (情報通信研究機構)    |
| 倉本 圭 (北海道大学)   | 中村 正人 (宇宙航空研究開発機構) |
| 小嶋 浩嗣 (京都大学)   | 横山 央明 (東京大学)       |
| 佐々木 晶 (大阪大学)   | 吉川 顕正 (九州大学)       |
| 関 華奈子 (名古屋大学)  | 渡邊誠一郎 (名古屋大学)      |
| 高橋 幸弘 (北海道大学)  |                    |

### ■大気水圏科学セクション選出 19 名

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 大手 信人 (東京大学)      | 田中 博 (筑波大学)        |
| 沖 理子 (宇宙航空研究開発機構) | 谷口 真人 (総合地球環境学研究所) |
| 蒲生 俊敬 (東京大学)      | 知北 和久 (北海道大学)      |
| 河宮 未知生 (海洋研究開発機構) | 津田 敏隆 (京都大学)       |
| 北 和之 (茨城大学)       | 中島 映至 (東京大学)       |
| 近藤 豊 (東京大学)       | 原田 尚美 (海洋研究開発機構)   |
| 佐藤 薫 (東京大学)       | 日比谷 紀之 (東京大学)      |
| 杉田 倫明 (筑波大学)      | 村山 泰啓 (情報通信研究機構)   |
| 鈴木 啓助 (信州大学)      | 吉田 尚弘 (東京工業大学)     |
| 田中 賢治 (京都大学)      |                    |

■地球人間圏科学セクション選出 13名

井田 仁康 ( 筑 波 大 学 )  
 小口 高 ( 東 京 大 学 )  
 奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )  
 近藤 昭彦 ( 千 葉 大 学 )  
 佐竹 健治 ( 東 京 大 学 )  
 島津 弘 ( 立 正 大 学 )  
 中村 俊夫 ( 名 古 屋 大 学 )

七山 太 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 春山 成子 ( 三 重 大 学 )  
 氷見山 幸夫 ( 北 海 道 教 育 大 学 )  
 松本 淳 ( 首 都 大 学 東 京 )  
 安成 哲三 ( 総 合 地 球 環 境 学 研 究 所 )  
 横山 祐典 ( 東 京 大 学 )

■固体地球科学セクション選出 30名

井口 正人 ( 京 都 大 学 )  
 石渡 明 ( 東 北 大 学 )  
 入船 徹男 ( 愛 媛 大 学 )  
 岩森 光 ( 東 京 工 業 大 学 )  
 ウォリス サイモン ( 名 古 屋 大 学 )  
 歌田 久司 ( 東 京 大 学 )  
 大久保 修平 ( 東 京 大 学 )  
 太田 雄策 ( 東 北 大 学 )  
 大谷 栄治 ( 東 北 大 学 )  
 鍵 裕之 ( 東 京 大 学 )  
 加藤 愛太郎 ( 東 京 大 学 )  
 川勝 均 ( 東 京 大 学 )  
 木村 学 ( 東 京 大 学 )  
 木村 純一 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 竹村 恵二 ( 京 都 大 学 )

田中 聡 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 田中 愛幸 ( 東 京 大 学 )  
 中川 光弘 ( 北 海 道 大 学 )  
 中田 節也 ( 東 京 大 学 )  
 中谷 正生 ( 東 京 大 学 )  
 中村 美千彦 ( 東 北 大 学 )  
 成瀬 元 ( 京 都 大 学 )  
 西村 卓也 ( 京 都 大 学 )  
 西山 忠男 ( 熊 本 大 学 )  
 浜野 洋三 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 深畑 幸俊 ( 京 都 大 学 )  
 古村 孝志 ( 東 京 大 学 )  
 松澤 暢 ( 東 北 大 学 )  
 道林 克禎 ( 静 岡 大 学 )  
 三井 雄太 ( 静 岡 大 学 )

■地球生命科学セクション選出 10名

磯崎 行雄 ( 東 京 大 学 )  
 井龍 康文 ( 東 北 大 学 )  
 遠藤 一佳 ( 東 京 大 学 )  
 大河内 直彦 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 掛川 武 ( 東 北 大 学 )

川幡 穂高 ( 東 京 大 学 )  
 北村 晃寿 ( 静 岡 大 学 )  
 小林 憲正 ( 横 浜 国 立 大 学 )  
 高橋 嘉夫 ( 広 島 大 学 )  
 西 弘嗣 ( 東 北 大 学 )

■地球惑星科学総合選出 11名

横山 広美 ( 東 京 大 学 )  
 熊谷 英憲 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 宮嶋 敏 ( 埼 玉 県 立 深 谷 第 一 高 等 学 校 )  
 矢島 道子 ( 東 京 医 科 歯 科 大 学 )  
 佐野 有司 ( 東 京 大 学 )  
 山本 高司 ( 川 崎 地 質 ( 株 ) )

畠山 正恒 ( 聖 光 学 院 中 学 高 等 学 校 )  
 飯田 佑輔 ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 )  
 瀧上 豊 ( 関 東 学 園 大 学 )  
 阿部 國廣 ( NPO 法 人 自 然 再 生 セ ン タ ー )  
 片山 直美 ( 名 古 屋 女 子 大 学 )

セクションプレジデント選挙日程

|                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| セクションプレジデント選挙、公示      | 平成25年 11月 1日 (金) |
| セクションプレジデント選挙、候補者受付開始 | 平成25年 11月 5日 (火) |
| セクションプレジデント選挙、候補者受付締切 | 平成25年 11月15日 (金) |
| セクションプレジデント選挙、投票開始    | 平成25年 11月25日 (月) |
| セクションプレジデント選挙、投票締切    | 平成25年 12月16日 (月) |
| セクションプレジデント選挙、開票、結果報告 | 平成25年 12月20日 (金) |

2013年セクションプレジデント選挙結果

全てのセクションにおいて、それぞれ1名ずつ立候補・推薦があり、会員による投票をまたず、セクションプレジデントを決定した。 任期は、2014年6月1日～2016年5月31日

■宇宙惑星科学セクションプレジデント  
佐々木 晶 （ 大 阪 大 学 ）

■大気水圏科学セクションプレジデント  
中島 映至 （ 東 京 大 学 ）

■固体地球科学セクションプレジデント  
大谷 栄治 （ 東 北 大 学 ）

■地球人間圏科学セクションプレジデント  
氷見山 幸夫 （ 北 海 道 教 育 大 学 ）

■地球生命科学セクションプレジデント  
小林 憲正 （ 横 浜 国 立 大 学 ）

#### 連合諸規則・規程等の制定と改定

日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金取り扱い規則を策定した。

フェロー審査委員会規則を策定・改定をした。

セクションプレジデント選挙規則および実施細則を策定した。

科学研究費補助金における国内出張旅費および外国出張旅費規則を改定した。

法人運営基本規程を改定した。

法人運営基本規則を改定した。

代議員選挙規則を改定した。

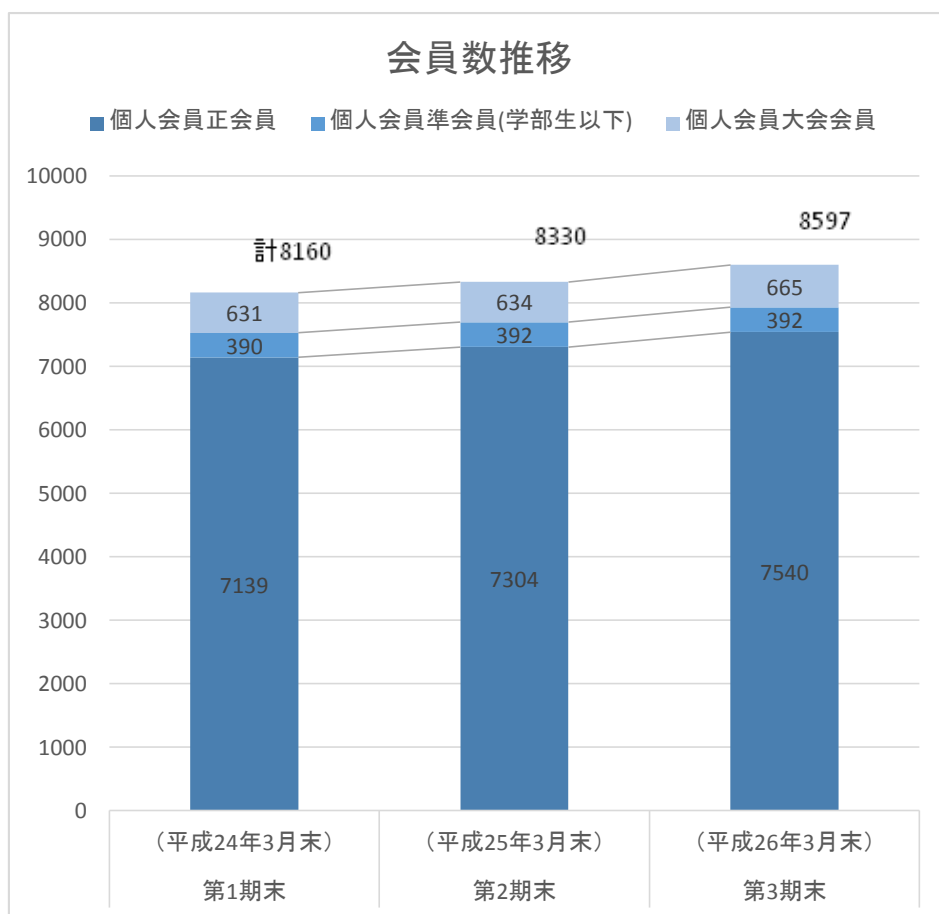
代議員選挙実施細則を改定した。

日本地球惑星科学連合国際化推進資金取扱規則を策定した。

## Ⅱ. 会員の状況

(平成 26 年 3 月末)

| 会員種別           | 第 1 期末<br>(平成 24 年 3 月末) | 第 2 期末<br>(平成 25 年 3 月末) | 増減  | 第 3 期末<br>(平成 26 年 3 月末) |
|----------------|--------------------------|--------------------------|-----|--------------------------|
| 個人会員正会員        | 7139                     | 7304                     | 236 | 7540                     |
| 個人会員準会員(学部生以下) | 390                      | 392                      | 0   | 392                      |
| 個人会員大会会員       | 631                      | 634                      | 31  | 665                      |
| 団体会員           | 48                       | 49                       | 1   | 50                       |
| 賛助会員           | 0                        | 1                        | 0   | 1                        |



# 平成 26 年度 事業計画書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階  
電話：03-6914-2080 Fax：03-6914-2088

## 平成 26 年度 事業計画書

公益社団法人第 4 期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

平成 26 年（2014 年）度は、公益社団法人日本地球惑星科学連合（以下、「連合」という。）がこれまで推進してきた「我が国の地球惑星科学コミュニティーを代表し、国際連携および社会への情報発信、関連分野の研究発表および情報交換を行い、学術および科学技術の振興等に寄与することを目的とする活動」を一層推進する。特に、

- 1) 国際シンポジウムを含む日本地球惑星科学連合大会の更なる発展
- 2) 一般公開講座や高校生セッション等の開催や国際地学・地理オリンピック活動支援等を通しての、関連科学の一般への普及
- 3) 国の科学・技術政策、教育問題の検討や提言、キャリアパス支援活動等を通しての教育・キャリア支援
- 4) 連合ジャーナルの創刊準備

の活動を推進する。

ヨーロッパの地球惑星科学連合 (EGU)、アジア太平洋地球科学学会 (AOGS) および米国地球物理連合 (AGU) 等の組織との国際連携を一層強化して、地球惑星科学の更なる国際化の展開と発展を目指す。

また、2014 年連合大会は、合同大会（第 1 回 1990 年）から数えて 25 回目の節目の大会と位置づけて、連合大会会期中に 25 周年記念行事をおこなうほか、大会 Web システムの充実や連合パンフレットの発行を行う。

## I. 事業の概要

### 1. 地球惑星科学に関わる研究発表会および国際会議等の開催

#### (1) 日本地球惑星科学連合 2014 年大会（連合大会）の開催

地球惑星科学に関する学理およびその応用に関する研究発表を通じて、地球惑星科学の進歩と普及を図ることを目的に、当該科学に関連する研究、教育に携わる、あるいは関心を持つ全ての人々を対象として、公開による学術大会を開催し、関連分野の研究発表と情報交換の場を設ける。特に、ポスター発表については昨年度に引き続き 3 分間の概要説明の時間を設けて発表者と聴衆の議論を深める。また、地球惑星科学に関連した研究教育機関、学協会、民間企業からの最新の情報や、各種プロジェクトの成果を大会参加者に紹介するための展示を設けるとともに、学術研究および教育に有益な、地球惑星科学関連書籍・機器・資料の展示を行う。今年は会場をパシフィコ横浜会議センターとし、大会期間中に 25 周年記念行事の一環として、記念式典とフェロー表彰式を行う。

日本地球惑星科学連合 2014 年大会 (Japan Geoscience Union Meeting 2014)

会 期：2014 年 4 月 28 日(月)～5 月 2 日(金)

場 所：パシフィコ横浜会議センター（〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

大会委員長：大路 樹生（名古屋大学博物館 学協会長会議議長）

主 催：公益社団法人日本地球惑星科学連合

後 援：45 団体（日本学術会議、文部科学省、気象庁 気象研究所、気象庁 地磁気観測所、海上保安庁、国土交通省 国土地理院、北海道立総合研究機構環境・地質研究本部 地質研究所、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構 国立極地研究所、自然科学研究機構 国立天文台、情報・システム研究機構 統計数理研究所、国立教育政策研究所、宇宙航空研究開発機構、海洋研究開発機構、科学技術振興機構 日本科学未来館、建築研究所、国立科学博物館、国立環境研究所、産業技術総合研究所、情報通信研究機構、森林総合研究所、石油天然ガス・金属鉱物資源機構、土木研究所、日本原子力研究開発機構、農業環境技術研究所、農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所、物質・材料研究機構、防災科学技術研究所、理化学研究所、地震予知総合研究振興会、地球環境産業技術研究機構、深田地質研究所、電力中央研究所、日本宇宙フォーラム、日本地図センター、全国地質調査業協会連合会、電子情報通信学会、東京都地質調査業協会、日本機械学会、日本航空宇宙学会、日本測量協会、日本分析機器工業会、横浜市、横浜観光コンベンションビューロー、パシフィコ横浜）

協 賛：4 学協会（日本サンゴ礁学会、日本大気電気学会、日本高圧力学会、日本天文学会）

開催セッション数：

| カテゴリー別       | 開催数 |       |
|--------------|-----|-------|
| U: ユニオンセッション | 10  | (*2)  |
| O: パブリック     | 6   | (*0)  |
| P: 宇宙惑星科学    | 29  | (*11) |
| A: 大気水圏科学    | 24  | (*5)  |



|             |     |       |
|-------------|-----|-------|
| H: 地球人間圏科学  | 25  | (*8)  |
| S: 固体地球科学   | 58  | (*10) |
| B: 地球生命科学   | 9   | (*2)  |
| G: 教育アウトリーチ | 5   | (*1)  |
| M: 学際・広領域   | 26  | (*2)  |
| 計           | 192 | (*41) |

(\*) 国際セッション数 (内数)

発表論文数 : 3800 件

参加者数 : 5500 人

展示企画 (ブース数) : 団体展示 (55), 書籍出版関連商品 (21), 大学インフォメーションパネル (16), 学協会エリア個別デスク (9), パンフレットデスク展示 (2)

## (2) 国際シンポジウム「JpGU International Symposium 2014」の開催

連合大会の国際化を推進するために、連合大会において英語を発表言語とする国際セッションを多数開催し、これを国際シンポジウムとして位置づけたプログラム編成を行なう。今年度は 41 件の国際セッションを予定している。

## (3) 「高校生によるポスター発表」の開催

将来を担う高校生を対象に、授業や課外活動で行った地球惑星科学に関する研究や学習の成果を研究者に対して発表するための、連合大会期間中の祝日 (4 月 29 日) にポスター発表会を開催する。今年度は、前年度程度 (67 件) の発表を予定している。

## (4) 地球惑星科学関連の一般公開プログラムの開催

一般市民を対象として、地球惑星科学に関連した研究成果の広報・普及活動を通して地球惑星科学の普及を図るために、連合大会会期中に「地球惑星科学トップセミナー」他を開催する。また、11 月頃に「秋の公開講演会」を開催予定である。

### ■地球惑星科学トップセミナー

期 日 : 平成 26 年 (2014 年) 4 月 29 日 (火)

主 催 : 広報普及委員会

内 容 :

「日本における最近の火山噴火 (レビュー) : これまでとこれから」 中田節也 (東京大学地震研究所)  
「巨大地震をほり起こすー津波堆積物からわかること・わからないことー」

宍倉正展 (産業技術総合研究所)

### ■Special NASA Lecture

期 日 : 平成 26 年 (2014 年) 4 月 29 日 (火)

主 催 : 広報普及委員会

内 容：

「Looking Down on the Earth: How Satellites Have Revolutionized Our Understanding of Our Home Planet」  
Michael H. Freilich (NASA)

■防災教育－災害を乗り越えるために私達が子どもたちに教えること 3

期 日：平成 26 年（2014 年）4 月 29 日（火）

主 催：教育問題検討委員会

内 容：

地震や大雨、火山噴火などによって、我国は未曾有の災害に見舞われ、防災教育の必要性が強く訴えられている。自然災害に備えて国民が学んでおかなければ事柄は、多くの分野に跨っており、従来、分野ごとに防災のための教育が行われてきた。本セッションは、そのような防災教育への様々な試みを分野横断的に取り上げ、包括的な防災教育の在り方を探る。2014 年度大会では、複雑さを増してきている「都市災害」、巨大化が憂慮される「世界の自然災害」、ならびに地域防災教育の実例を取り上げる。また、2013 年度の「災害急性期の医療」に引き続いて、医療分野から「災害復興期の医療－PTSD への対応」を取り上げる。さらに、文部科学省の担当者を招いて、同省の防災教育についての取り組みについて講演を企画する。

防災教育実践例

上岡 法政（高知県教育委員会学校安全対策課）

都市災害・世界の自然災害

河田 恵昭（関西大学社会安全学部）

災害復興期における医療

高田 哲（神戸大学大学院保健学研究科）

他 文科省の防災教育計画 他

■地球惑星科学系研究者のワークライフバランスとキャリア形成

期 日：2014 年連合大会会期中

主 催：男女共同参画委員会

内 容：

社会のため、科学技術の発展のため、真理の追究のため、日々努力する科学者たちの日常を考え、昨年・一昨年に開催した「イクメンシンポ」の門戸を広げ、ライフワークバランスについて、我が国と他の国とを比較しながら、広く考える。有期雇用（ポスドク）問題をはじめとする若手科学者達が抱えている問題についても議論を行う。

「地球惑星科学者のキャリアパスを考える」

中村正人（宇宙航空研究開発機）

「タイの家庭の現状と将来」

TANGWATTANANUKUL, Ladda（秋田大学）

「イクメンのすすめ」

吉田大樹（非営利活動法人ファザーリング・ジャパン）

「介護・育児・研究の両立～私の介護経験～」

大矢浩代（千葉大学）

「筑波大学におけるダイバーシティ推進への取り組み」

幅崎麻紀子（筑波大学）

#### ■日本のジオパーク

期 日：平成 26 年（2014 年）4 月 30 日（水）

主 催：日本ジオパーク委員会

内 容：

日本のジオパークの活動の紹介に関する発表と、新規ジオパークの申請内容、および世界ジオパーク申請希望地域の申請内容に関する発表を行う。新規申請ジオパークの発表は、日本ジオパーク委員会の審査の一部である公開プレゼンテーションとして行う。

発表団体名 確定次第掲載

#### ■日本地球惑星科学連合 秋の公開講演会

期 日：2014 年 11 月 （予定）

場 所：（未定）

主 催：広報普及委員会

内 容：（未定）

#### （5）「スペシャルレクチャー」の開催

学部生や院生を主たる対象として、連合大会会期中の昼食時にスペシャルレクチャーをシリーズで開催する。5つのセクションの各分野の最新トピックスについて世界的第一人者を講師に迎えて、異分野の聴衆を対象とするわかりやすい内容の講演会を開催する。

期 日：2014 年 4 月 28 日（月）～5 月 2 日（金）毎日昼 13：00～13：40 予定

場 所：連合大会会場

主 催：大会運営委員会

|                 |                                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------|
| 内 容：宇宙惑星科学セクション | Daniel N. Baker (University of Colorado Boulder) |
| 大気圏科学セクション      | Michael H. Freilich (NASA)                       |
| 地球人間圏科学セクション    | 小口 高 (東京大学)                                      |
| 固体地球科学セクション     | Michael Garcia (Univ. of Hawaii)                 |
| 地球生命科学セクション     | 横山祐典 (東京大学)                                      |

#### （6）関連集会の開催

地球惑星科学コミュニティーに共通する諸問題についての検討と関連情報の周知をサポートする目的として、各種集会・懇談会を開催する。今年度は連合大会会期中に全国地球惑星科学系専攻長・学科長懇談会を開催する。

#### ■全国地球惑星科学系専攻長・学科長懇談会

日 時：連合大会 会期中

主 催：日本学術会議地球惑星科学委員会，日本地球惑星科学連合大学および大学院教育小委員会

内 容： 全国の地球惑星科学系専攻長・学科長が一同に会し，地球惑星科学系大学の発展と大学院教育の在り方についての情報交換を行う。

## 2. 地球惑星科学に関わる研究成果の刊行および教育普及

我が国の地球惑星科学および関連科学の振興と普及を目的として、地球惑星科学に関する学理およびその応用に関する知識や情報の交換の促進を図るために、連合学術誌の創刊に向けた準備とともに、連合加盟学協会 の出版事業の広報普及の支援を行う。

### (1) 連合学術誌の出版の高度化

地球惑星科学に関する研究の発展を目指し、国際的なコミュニティへの情報発信を通じて地球惑星科学の学術への発展に貢献ために、電子版欧文学術誌（ジャーナル）の発行活動を引き続きおこなう。投稿促進に向け、①2014 連合大会成発表の中からコンビナー推薦による優秀発表への投稿依頼、②国際セッションの開催支援（旅費支援）と論文投稿依頼、③国際シンポジウムの開催支援（旅費支援）と論文投稿依頼、④サイエンス・セクションからのジャーナル執筆依頼などを行う。また、広く新ジャーナルの認知を得るために広報活動にも努める。特に、AGU、AOGS、IGU などの国際会議へのブース出展やパンフレットへの広告掲載を行うなど新ジャーナルを広く周知する取組みを行う。さらに、連合大会とリンクした新規の大会アプリやマイページなどのシステムを介して、海外情報発信強化・引用促進のアピールサイトの準備を行う。

### (2) 連合加盟学協会による学術誌出版の広報普及支援

海外で開催される国際学術大会で連合ブースを出展し、連合加盟学協会が出版する学術誌の展示等を行うなど、地球惑星科学および関連科学の学術出版物の広報普及に関する支援を行う。

国際学術発表会における展示：

| 開催日                     | 開催場所          | 出展大会名               |
|-------------------------|---------------|---------------------|
| 2014 年 7 月 28 日-8 月 1 日 | 日本、札幌         | AOGS Annual Meeting |
| 2014 年 12 月 15-19 日     | アメリカ、サンフランシスコ | AGU Fall Meeting    |

### (3) ニュースレター誌「Japan Geoscience Letters (JGL)」の発行

連合の会員（個人・団体会員）および、科学館、博物館、高等学校教員、関連企業等の関係者や一般市民を対象として、地球惑星科学の研究成果の広報・普及を目的としてニュースレター誌「JGL」を年 4 号定期発行する。

発行部数 : 26,000~30,000 部

配布先 : 会員（個人、団体）

国立国会図書館

科学館（日本科学未来館、日本科学技術館他）

博物館（国立科学博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館他）

高等学校（東京都立戸山高等学校、千葉県立船橋高等学校、早稲田大学高等学院他）

関連企業（NPG ネイチャーアジア・パシフィック、株式会社タイロス他）

(4) ウェブサイト、メールニュースを活用した広報・普及事業

連合の会員および一般市民を対象に、ウェブサイトや毎月発行のメールニュース等を通して、地球惑星科学に関連するニュース、国内外の学会・シンポジウム・研究集会・一般公開イベントや求人・公募等の情報を配信する。メールニュースの内容を一層充実させ、年間 30 本程度配信するほか、ウェブサイトを刷新して、会員および一般市民が地球惑星科学関連情報にアクセスしやすい環境を提供する。

(5) 連合大会における「学生優秀発表」の表彰

連合大会における学生優秀発表賞の表彰をセクション単位で実施する。2014 年大会では、宇宙惑星科学、大気水圏科学、地球人間圏科学、固体地球科学、地球生命科学の全 5 セクションが実施を予定している。学生優秀発表賞のシステムの充実を図り、増強された WEB システムを利用して、学生優秀発表表彰制度の安定的な運営をめざす。

### 3. 国および社会一般からの諸要請に対応した地球惑星科学コミュニティにおける意見集約とこれに基づく提言

地球惑星科学コミュニティの意見を集約するとともに、日本学術会議を含む国および社会一般への諸要請への対応に関わる要請に対応するために、以下の活動を行う。

(1) 学協会長会議の開催

国内の地球惑星科学および関連分野の研究者を対象に、学協会長会議を年に 2 回開催して、地球惑星科学コミュニティの意見集約を行うとともに、自然科学に関わる国内外の情勢についての情報交換を行う。連合理事会からの諮問、および学協会や日本学術会議から提案される重要な課題について議論し、意見集約と対外的情報発信を行う。

第 1 回学協会長会議

期日：2014 年 5 月 1 日（木）13：00～14：00

場所：パシフィコ横浜会議センター（横浜市）

第 2 回学協会長会議

期日：2014 年 11 月（予定）

場所：東京大学（東京都文京区）

(2) 地球惑星科学コミュニティの意見集約

国および社会一般からの諸要請に基づき、地球惑星科学コミュニティの意見集約と、コミュニティへの情報伝達を行う。特に、日本学術会議が発出する声明を連合ウェブやメールニュース、関連メーリングリストを通じて地球惑星科学コミュニティへの周知をサポートする。

#### 4. 地球惑星科学に関わる外国学協会との連携と国際プロジェクトの推進

我が国の地球惑星科学コミュニティーを代表して、地球惑星科学の国際的な発展に寄与することを目的に、地球惑星科学に関する国際的な研究協力と交流活動の推進を図る。

##### (1) 地球惑星科学に関わる国際学協会との連携および協力

ヨーロッパの EGU, 米国の AGU, ならびにアジアの AOGS 等の国際的な学協会と連携協力し、地球惑星科学に関わる国際会議等の企画、開催、国際的プロジェクトの推進等を行う。特に、2014 年 AOGS 札幌大会開催の活動支援を行う。

また、8 月に日本で開催される国際会議 SEDI（地球深部研究）への活動支援を行う。

| 開催日開催場所                                | 大会名                        | 国際学協会名                                                  |
|----------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------|
| 2014 年 4 月 27 日-5 月 2 日<br>オーストリア、ウィーン | EGU General Assembly 2014  | European Geosciences Union                              |
| 2014 年 7 月 28 日-8 月 1 日<br>日本、札幌       | AOGS Annual Meeting        | Asia Oceania Geosciences Society                        |
| 2014 年 8 月 3-8 日<br>日本・神奈川             | The 14th Symposium of SEDI | Study of the Earth's Deep Interior, a Committee of IUGG |
| 2014 年 12 月 15-19 日<br>アメリカ、サンフランシスコ   | AGU Fall Meeting           | American Geophysical Union                              |

##### (2) 国際科学（地学・地理）オリンピック活動支援

高校生を対象に、地球惑星科学への認識を高めるとともに地球惑星科学の学習を促進と若年層による国際交流を深めることを目的に、国際科学（地学・地理）オリンピックの日本大会を連合の共催事業として行うほか、外国開催に関わる支援を行う。

##### 第 11 回国際地理オリンピック（ポーランド大会）

期日：2014 年 8 月 12 日～18 日

場所：ポーランド・クラクフ

##### 第 8 回国際地学オリンピック（スペイン大会）

期日：2014 年 9 月 22 日～28 日（予定）

場所：スペイン・サンタンデール

##### ※第 10 回国際地学オリンピック（日本大会）の開催準備

期日：2016 年 8 月（予定）

場所：日本・三重県

## 5. 地球惑星科学知見の社会還元

地球惑星科学の研究成果を統合的な形で社会へ還元し、科学的提言を発信する。

### (1) 複合的自然災害への対応と科学的提言の発信

地球上で起こる自然科学現象の複合災害化に備え、地球惑星科学の総合的、かつ蓄積された研究成果を社会へ還元することを目的として、風水害、地震、火山、津波などの自然災害などの統合的な対策にむけた科学的提言を行う。

### (2) 複合的自然災害リテラシーの普及

複合的自然災害に対して、国民の基礎知識を高め、突発的災害によるリスクを最小限することを目指し、自然災害に関する大量の情報の中から必要なものを採り、情報を加工して意思決定するための基礎的な知識や技能（複合的自然災害リテラシー）の普及を支援するための活動を行う。

## 6. 日本地球惑星科学連合ユニオンおよびセクション・サイエンスボード、委員会活動

広く国内外の地球惑星科学関連分野の研究者を対象に、地球惑星科学の推進と学術の推進振興をはかることを目的として、ユニオンサイエンスボードおよびセクション・サイエンスボード、並びに各委員会の活動を推進する。

### (1) ユニオンサイエンスボードの活動

現在の5つの分野別セクション（宇宙惑星科学、大気海洋・環境科学、地球人間圏科学、固体地球科学、地球生命科学）に加え、それらを統一するユニオンサイエンスボードという新たな枠組みを設け、各々の分野の活動に加えて地球惑星科学全体を統合した活動を進める。

#### 宇宙惑星科学セクション

- ・JPGU2014より、宇宙惑星科学学生賞を設定する。
- ・セクションボード会議の開催
- ・関連研究者による諸議題に関する会合等

#### 大気水圏科学セクション

- ・連合大会及び AOGS において国際セッションに出席する海外研究者に旅費を支給しセッションを支援する。
- ・連合大会時にセクションボードメンバー及び代議員を招集しセクションボードミーティングを開催する。
- ・連合大会時に当該セクションに関する学生の発表を審査し、優秀な発表者に対して「学生優秀発表賞」を授与する。
- ・連合大会及び AOGS において国際セッションに出席する海外研究者に旅費を支給し支援をおこなう。連合大会時にセクションボードメンバー及び代議員を招集しセクションボードミーティングを開催する。
- ・大気水圏科学の振興に関わる諸案件の検討と対応を行う。

#### 地球人間圏科学セッション

- ・2014年4月28日～5月2日の連合大会の折に横浜パシフィコにてボードミーティングを開催する。
- ・連合大会におけるユニオンセッション、特にFuture Earth セッション(U07)と環境・災害セッション(U08)に積極的に関わる。
- ・2014年7月28日～8月1日に札幌で開催される AOGS 大会に積極的に関わる。特に連合大会の Future Earth セッションと AOGS の Future Earth セッションのジョイントセッションとしての開催に鋭意取組む。
- ・その他 Future Earth 計画と統合的防災・災害研究の推進および関連する一般市民向け活動や教育活動等にも積極的に取り組む。

#### 固体地球科学セッション

本年度は、1. セクションの内部構造として、複数のフォーカスグループ (FG) の立ち上げを検討すること、2. セクションメンバーに役立つセッションのウェブサイト構築すること、3. セクションの褒章制度を拡充することの3点を主要な課題とする。そのために、連合大会においてフォーカスグループの会合、セッションのビジネス会合を開催する。そこで、これら3課題について、議論をおこなう。連合大会では、固体地球科学のセッションの活性化特に国際セッションに海外から優れた研究者の招聘を行い、連合の国際セッションを海外に発信するとともに PEPS への著名論文の投稿を呼び掛ける。同時に、8月には、地球内部科学 FG の活動として、SEDI (地球深部研究) の国際会議を開催する。招聘研究者の PEPS への投稿を促進する。固体地球科学セッションの褒章を検討し、新たな褒章を設けたい。

#### 地球生命科学セッション

- ・2014年連合大会地球生命科学関連セッション (国際セッション含む) 開催 (4月～5月)
- ・AOGS 札幌大会への BG セッションプログラム関連への参加 (7月)
- ・EGU, AGU, AOGS Biogeosciences Section 等との更なる連携模索 (海外からの招聘あるいは派遣事業を含む)
- ・地球生命科学分野の長期ビジョン策定に向けた議論の開始

### (2) 各種委員会活動

各委員会では年間を通じて委員会を随時開催するとともに、担当理事を通じて理事会への活動報告を行い、意志疎通を強める。特に今年度は以下の委員会活動を推進する。

#### 総務委員会

今年度実施される代議員及びセッションプレジデント選挙の円滑に関する準備を行う。公益社団法人の円滑な運営と体制強化のための、諸規則の整備や事務局員の増強等をはかる。

#### 財務委員会

連合の運営基盤の強化のために、中長期的に学会運営に関して経理面の課題と対策を検討する。



#### 広報普及委員会

連合の活動及び地球惑星科学分野での最新トピックスや学術会議の活動を迅速に伝えるための Web システム等の整備を検討する。また、以下の活動を予定している。

- ・2014 年 4 月に横浜市文科観光局と連携してアウトリーチ企画を開催予定
- ・連合 2014 年大会でパブリックセッション「高校生によるポスター発表」及び「地球・惑星科学トップセミナー」、高校生・学部生向け企画「大学生・大学院生に地球惑星科学について聞いてみよう」を開催予定
- ・「地球・惑星科学トップセミナー」の映像を記録して動画配信予定
- ・2014 年 7 月頃に広報普及委員会開催予定
- ・2014 年 11 月頃に「日本地球惑星科学連合 2013 年秋の公開講演会」を開催予定、映像を記録して動画配信予定
- ・ニュースレター誌 JGL を年間 4 号発行予定
- ・メールニュース定期号を年間 12 号、臨時号を年間約 10 件程度配信予定
- ・ウェブサイトを活用した広報・普及事業（公開講演会等の動画配信を含む）を行う予定
- ・英語版ウェブサイトの充実

#### 環境・災害対応委員会

環境・災害問題に関する重要課題を調査し、緊急災害発生時の連合の対応方策を確立すると共に、連合大会においてセッション開催を提案する。

#### 男女共同参画委員会・キャリア支援委員会

- ・2014 年合同大会の期間中にパブリックセッション「地球惑星科学系研究者のワークライフバランスとキャリア形成」および委員会を開催する。
- ・男女共同参画学協会連絡会の「提言・要望書ワーキンググループ」に参加し、2014 年 4 月頃に内閣府や文部科学省などの公的機関に提出予定である。
- ・JST の支援事業の「女子中高生夏の学校 2014」に参加予定である。企画立案にもコミットする予定である。
- ・キャリア支援委員会と連携して、第 5 回キャリアアンケートを実施する。

#### キャリア支援委員会

地球惑星科学関連分野の大学院生ならびにポストドクター研究員などのキャリア支援を進めるために、連合大会において大学等研究機関、一般企業等から講演者を招き「キャリアパス説明会」を開催する。また、「進路相談ブース」を設置し、進路についての相談と情報提供を行う。キャリアパスアンケートも継続して行う。

#### 教育問題検討委員会

- ・JpGU2014 年度大会において、昨年度に引き続き「地学教育ジウム」を開催する。また、パブリックセッションに採択された「防災教育－災害を乗り越えるために私達が子ども達に教えること 3」への協力

を行う。

- ・「地球惑星科学の持続的発展をめざした教育の充実」に関するシンポジウム（9月、京都大学生存圏研究所）」を連携開催する。
- ・次期学習指導要領の改訂に対応するための活動を昨年度から開始しており、その活動を継続して行う。
- ・日本学術会議とも連携し、大学・大学院教育に関わる諸作業を平成25年度と同様に継続して行う。
- ・JpGUでの新規事業（教員免許状更新講習の開設）を提案するため、すでに同講習を実施している（公社）日本地震学会の講習の視察を行う。
- ・教育課程小委員会を通じて、改訂された学習指導要領に基づく地学に関する教育の支援と次期学習指導要領改訂に向けて科目設定の検討を行う。
- ・全国の地学教員の連携のために、HPやシンポジウムを通じた情報交換の場を設定する。
- ・理数系学会教育問題連絡会と連携し、高等学校到達度テストへの対応に努める。
- ・GeoSciEd VII (7th Conference of the International Geoscience Education Organization（第7回国際地学教育会議）が9月5～9日にインドのUniversity of Hyderabadにて開催予定であり、教育問題検討委員会に属する委員が参加を予定している。

#### 情報システム委員会

連合Webシステムの安定運用とユーザビリティの向上に向けたシステム改修について検討を行う。

#### 大会運営委員会

連合大会の参加者増を目指し、満足度の高いプログラムや企画の充実にむけた方策を企画検討する。

#### 国際学術委員会

AGUやAOGS等の連携海外組織の大会にブースを出展し、本連合や加盟学協会の活動紹介を行う。

#### フェロー審査委員会

日本地球惑星科学連合フェロー制度は地球惑星科学において顕著な功績を挙げ、あるいは日本地球惑星科学連合の活動に卓越した貢献をされた方を高く評価し、名誉あるフェローとして処遇する事を目的としている。フェロー審査委員会は会員からの推薦に基づき、被推薦者がフェローに相応しい業績をあげ、あるいは活動をしたか評価し、会長にフェロー称号授与の可否を答申する。

# 収支予算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

公益目的事業会計

(単位:円)

| 科 目                   | 平成26年度予算額   | 前年度予算額     | 増 減        |
|-----------------------|-------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部          |             |            |            |
| 1. 経常増減の部             |             |            |            |
| (1) 経常収益              |             |            |            |
| 基本財産運用益               | 1,253       | 1,253      | 0          |
| 基本財産受取利息              | 1,253       | 1,253      | 0          |
| 特定資産運用益               | 3,000       | 0          | 3,000      |
| 特定資産受取利息              | 3,000       | 0          | 3,000      |
| 受取会費                  | 10,000,000  | 10,000,000 | 0          |
| 当年度会費                 | 10,000,000  | 10,000,000 | 0          |
| 事業収益                  | 93,066,700  | 73,480,300 | 19,586,400 |
| 学術大会事業収益              | 93,016,700  | 73,425,300 | 19,591,400 |
| 大投会稿参加料収入             | 60,725,700  | 43,790,500 | 16,935,200 |
| 団体展覧示料収入              | 13,051,000  | 9,170,000  | 3,881,000  |
| 大学インフォメーションパネル収入      | 14,040,000  | 15,600,000 | -1,560,000 |
| 書籍展覧示料収入              | 1,120,000   | 700,000    | 420,000    |
| パンフレットデスク収入           | 1,050,000   | 1,050,000  | 0          |
| 会議室使用料収入              | 10,000      | 190,000    | -180,000   |
| 懇親会収入                 | 2,000,000   | 2,045,000  | -45,000    |
| 学協会の出展料他              | 500,000     | 296,500    | 203,500    |
| 刊行事業の収益               | 270,000     | 240,000    | 30,000     |
| JGL事業の収益              | 250,000     | 343,300    | -93,300    |
| メールニュース広告料収入          | 50,000      | 55,000     | -5,000     |
| メーニユース広告料収入           | 50,000      | 30,000     | 20,000     |
| 受取補助金等                | 0           | 25,000     | -25,000    |
| 26年度科学研究費補助金研究成果公開促進費 | 36,038,260  | 0          | 36,038,260 |
| 雑収                    | 8,000       | 71,907     | -63,907    |
| 受取の利息他                | 8,000       | 7,904      | 96         |
| 経常収益計                 | 0           | 64,003     | -64,003    |
| (2) 経常費用              | 139,117,213 | 83,553,460 | 55,563,753 |
| 事業費                   | 140,431,023 | 71,996,320 | 68,434,703 |
| 給料手当                  | 15,050,000  | 8,520,000  | 6,530,000  |
| 法定福利賃金                | 1,460,000   | 886,000    | 574,000    |
| ホ一ムペ一ジ作成費             | 4,271,000   | 5,630,000  | -1,359,000 |
| ホ一ムペ一ジ制作費             | 300,000     | 260,000    | 40,000     |
| ホ一ムペ一ジ制作費             | 3,971,000   | 2,870,000  | 1,101,000  |
| ホ一ムペ一ジ制作費             | 0           | 2,500,000  | -2,500,000 |
| 旅費                    | 2,231,600   | 400,000    | 1,831,600  |
| 交通費                   | 27,564,000  | 5,800,000  | 21,764,000 |
| 通信費                   | 1,240,000   | 620,000    | 620,000    |
| 通減消耗品                 | 26,324,000  | 5,180,000  | 21,144,000 |
| 印刷製本費                 | 2,342,600   | 1,782,160  | 560,440    |
| 印刷製本費                 | 4,238,260   | 2,600,000  | 1,638,260  |
| 印刷製本費                 | 100,000     | 424,000    | -324,000   |
| 印刷製本費                 | 5,802,525   | 1,540,000  | 4,262,525  |
| 印刷製本費                 | 17,704,270  | 10,394,700 | 7,309,570  |
| 印刷製本費                 | 831,750     | 520,000    | 311,750    |
| 印刷製本費                 | 2,180,000   | 2,120,000  | 60,000     |
| 印刷製本費                 | 290,000     | 110,000    | 180,000    |
| 印刷製本費                 | 0           | 120,000    | -120,000   |
| 印刷製本費                 | 3,773,520   | 3,668,700  | 104,820    |
| 印刷製本費                 | 0           | 3,000,000  | -3,000,000 |
| 印刷製本費                 | 10,629,000  | 856,000    | 9,773,000  |
| 印刷製本費                 | 80,000      | 0          | 80,000     |
| 印刷製本費                 | 550,000     | 290,000    | 260,000    |
| 印刷製本費                 | 36,179,072  | 20,095,460 | 16,083,612 |
| 印刷製本費                 | 2,660,000   | 1,349,460  | 1,310,540  |
| 印刷製本費                 | 174,000     | 156,000    | 18,000     |
| 印刷製本費                 | 21,353,760  | 15,650,000 | 5,703,760  |
| 印刷製本費                 | 10,558,512  | 2,800,000  | 7,758,512  |
| 印刷製本費                 | 1,432,800   | 140,000    | 1,292,800  |
| 印刷製本費                 | 1,993,896   | 4,000,000  | -2,006,104 |

|                 |   |   |   |   |   |             |            |            |
|-----------------|---|---|---|---|---|-------------|------------|------------|
| 諸租支支委           | 税 | 謝 | 公 | 課 | 金 | 376,000     | 60,000     | 316,000    |
| ス               | 払 | 手 | 数 | 料 | 料 | 2,600,000   | 0          | 2,600,000  |
| シ               | ス | 賛 | 助 | 金 | 金 | 1,710,000   | 1,687,000  | 23,000     |
| そ               | テ | 託 | 関 | 費 | 費 | 825,000     | 820,000    | 5,000      |
| 雑保広             |   | ム | 連 | 他 |   | 12,705,000  | 6,464,000  | 6,241,000  |
|                 |   | の |   |   |   | 5,580,000   | 5,894,000  | -314,000   |
|                 |   | 陰 |   |   |   | 7,125,000   | 570,000    | 6,555,000  |
|                 |   | 宣 |   |   |   | 610,000     | 100,000    | 510,000    |
|                 |   | 伝 |   |   |   | 37,800      | 3,000      | 34,800     |
| 管               | 告 |   |   |   |   | 2,000,000   | 500,000    | 1,500,000  |
| 給法旅             | 料 | 手 | 利 | 費 | 費 | 8,686,000   | 11,557,140 | -2,871,140 |
| 通交              | 定 | 福 | 通 | 費 | 費 | 4,500,000   | 5,720,000  | -1,220,000 |
| 通減消消賃           | 費 | 交 | 勤 | 費 | 費 | 500,000     | 550,000    | -50,000    |
| 事               | 信 | 運 | 通 | 費 | 費 | 800,000     | 730,000    | 70,000     |
| 諸租支支委           | 価 | 償 | 搬 | 費 | 費 | 400,000     | 400,000    | 0          |
|                 | 耗 | 器 | 却 | 費 | 費 | 400,000     | 330,000    | 70,000     |
|                 | 什 | 備 | 品 | 費 | 費 | 200,000     | 162,800    | 37,200     |
|                 | 耗 | 品 | 品 | 費 | 費 | 0           | 42,000     | -42,000    |
|                 | 務 | 借 | 賃 | 費 | 費 | 100,000     | 50,000     | 50,000     |
|                 | 務 | の | 賃 | 料 | 料 | 400,000     | 310,000    | 90,000     |
|                 | 税 | 謝 | 公 | 料 | 料 | 696,000     | 901,340    | -205,340   |
|                 | 払 | 手 | 数 | 他 | 他 | 600,000     | 792,540    | -192,540   |
|                 |   |   |   | 金 | 課 | 66,000      | 88,800     | -22,800    |
|                 |   |   |   | 課 | 料 | 30,000      | 20,000     | 10,000     |
|                 |   |   |   | 料 | 費 | 1,200,000   | 1,205,000  | -5,000     |
|                 |   |   |   | 費 |   | 120,000     | 1,710,000  | -1,590,000 |
|                 |   |   |   |   |   | 80,000      | 156,000    | -76,000    |
|                 |   |   |   |   |   | 90,000      | 20,000     | 70,000     |
| 經常費用計           |   |   |   |   |   | 149,117,023 | 83,553,460 | 65,563,563 |
| 評価損益等調整前当期經常増減額 |   |   |   |   |   | -9,999,810  | 0          | -9,999,810 |
| 損益評価等計          |   |   |   |   |   | 0           | 0          | 0          |
| 当期經常増減額         |   |   |   |   |   | 0           | 0          | 0          |
| (2) 經常外費用       |   |   |   |   |   |             |            |            |
| 經常外費用計          |   |   |   |   |   | 0           | 0          | 0          |
| 当期經常外増減額        |   |   |   |   |   | 0           | 0          | 0          |
| 当期一般正味財産増減額     |   |   |   |   |   | -9,999,810  | 0          | 0          |
| 一般正味財産期首残高      |   |   |   |   |   | 86,727,068  | 0          | 0          |
| 一般正味財産期末残高      |   |   |   |   |   | 76,727,258  | 0          | 0          |
| II 指定正味財産増減の部   |   |   |   |   |   |             |            |            |
| 受取補助金           |   |   |   |   |   | 35,200,000  | 0          | 0          |
| 一般正味財産への振替額     |   |   |   |   |   | -36,038,260 | 0          | 0          |
| 当期指定正味財産増減額     |   |   |   |   |   | 0           | 0          | 0          |
| 指定正味財産期首残高      |   |   |   |   |   | 3,981,736   | 0          | 0          |
| 指定正味財産期末残高      |   |   |   |   |   | 3,143,476   | 0          | 0          |
| III 正味財産期末残高    |   |   |   |   |   | 79,870,734  |            |            |

# 貸借対照表

平成26年 3月31日現在

公益目的事業会計

(単位:円)

| 科 目                  |    |   |   |   | 当年度         | 前年度         | 増 減         |
|----------------------|----|---|---|---|-------------|-------------|-------------|
| I 資産の部               |    |   |   |   |             |             |             |
| 1. 流動資産              |    |   |   |   |             |             |             |
| 現金                   | 預金 |   |   |   | 59,895,050  | 80,011,616  | -20,116,566 |
| 未成事                  | 収業 | 支 | 出 |   | 69,397      | 48,208      | 21,189      |
| 未立預                  | 替  | 費 |   |   | 17,661,202  | 7,476,600   | 10,184,602  |
| 前払                   | 金  |   |   |   | 289,829     | 0           | 289,829     |
| 仮払                   | 金  |   |   |   | 3,947,100   | 0           | 3,947,100   |
|                      | 金  |   |   |   | 178,500     | 178,500     | 0           |
|                      | 金  |   |   |   | 295,436     | 55,200      | 240,236     |
| 流動資産合計               |    |   |   |   | 82,336,514  | 87,770,124  | -5,433,610  |
| 2. 固定資産              |    |   |   |   |             |             |             |
| (1) 基本財産             |    |   |   |   |             |             |             |
| 定期預金                 |    |   |   |   | 5,000,000   | 5,000,000   | 0           |
| 基本財産合計               |    |   |   |   | 5,000,000   | 5,000,000   | 0           |
| (2) 特定資産             |    |   |   |   |             |             |             |
| 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金 |    |   |   |   | 9,000,000   | 0           | 9,000,000   |
| 国際化推進準備資金            |    |   |   |   | 9,000,000   | 0           | 9,000,000   |
| 特定資産合計               |    |   |   |   | 18,000,000  | 0           | 18,000,000  |
| (3) その他固定資産          |    |   |   |   |             |             |             |
| 什器備品                 |    |   |   |   | 363,409     | 188,509     | 174,900     |
| ソフトウェア               |    |   |   |   | 10,404,970  | 5,351,107   | 5,053,863   |
| 保険証                  |    |   |   |   | 538,200     | 340,200     | 198,000     |
| その他固定資産合計            |    |   |   |   | 11,306,579  | 5,879,816   | 5,426,763   |
| 固定資産合計               |    |   |   |   | 34,306,579  | 10,879,816  | 23,426,763  |
| 資産合計                 |    |   |   |   | 116,643,093 | 98,649,940  | 17,993,153  |
| II 負債の部              |    |   |   |   |             |             |             |
| 1. 流動負債              |    |   |   |   |             |             |             |
| 未払金                  |    |   |   |   | 1,584,654   | 277,822     | 1,306,832   |
| 未成事                  | 私事 | 業 | 費 | 入 | 2,325,272   | 1,443,669   | 881,603     |
| 未立預                  | 受  | 会 |   |   | 17,153,100  | 10,799,000  | 6,354,100   |
| 前払                   | り  |   |   |   | 3,947,000   | 2,980,000   | 967,000     |
| 仮払                   | 受  |   |   |   | 342,529     | 127,111     | 215,418     |
| 未払                   | 消  | 費 | 税 |   | 30,234      | 50,000      | -19,766     |
|                      |    |   |   |   | 551,500     | 1,459,000   | -907,500    |
| 流動負債合計               |    |   |   |   | 25,934,289  | 17,136,602  | 8,797,687   |
| 負債合計                 |    |   |   |   | 25,934,289  | 17,136,602  | 8,797,687   |
| III 正味財産の部           |    |   |   |   |             |             |             |
| 1. 指定正味財産            |    |   |   |   |             |             |             |
| 受取補助金                |    |   |   |   | 3,981,736   | 0           | 3,981,736   |
| 指定正味財産合計             |    |   |   |   | 3,981,736   | 0           | 3,981,736   |
| (うち固定資産への充当額)        |    |   |   |   | (3,981,736) | (0)         | (3,981,736) |
| 2. 一般正味財産            |    |   |   |   |             |             |             |
| (うち基本財産の充当額)         |    |   |   |   | 86,727,068  | 81,513,338  | 5,213,730   |
| 正味財産合計               |    |   |   |   | (5,000,000) | (5,000,000) | (0)         |
| 負債及び正味財産合計           |    |   |   |   | 90,708,804  | 81,513,338  | 9,195,466   |
|                      |    |   |   |   | 116,643,093 | 98,649,940  | 17,993,153  |

# 正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

公益目的事業会計

(単位:円)

| 科 目 |                       | 当年度         | 前年度        | 増 減        |
|-----|-----------------------|-------------|------------|------------|
| I   | 一般正味財産増減の部            |             |            |            |
| 1.  | 経常増減の部                |             |            |            |
| (1) | 経常収益                  |             |            |            |
| 基   | 基本財産運用益               | 1,250       | 1,253      | -3         |
| 基   | 基本財産受取利息              | 1,250       | 1,253      | -3         |
| 特   | 特定資産受取利息              | 1,775       | 0          | 1,775      |
| 特   | 特定資産受取利息              | 1,775       | 0          | 1,775      |
| 受   | 当年度会費                 | 11,166,000  | 9,998,000  | 1,168,000  |
| 当   | 事業収益                  | 11,166,000  | 9,998,000  | 1,168,000  |
| 事   | 学術大会事業収益              | 76,273,450  | 71,210,800 | 5,062,650  |
| 学   | 大会参加料収入               | 76,028,450  | 71,115,800 | 4,912,650  |
| 大   | 団体展覧会収入               | 43,731,000  | 43,790,500 | -59,500    |
| 投   | 会費収入                  | 9,341,500   | 9,170,500  | 171,000    |
| 団   | 学術大会参加料収入             | 17,250,000  | 12,900,000 | 4,350,000  |
| 大   | 大学図書パネル収入             | 770,000     | 1,050,000  | -280,000   |
| 学   | インフォメーション収入           | 1,180,000   | 840,000    | 340,000    |
| 書   | パネル展覧会収入              | 650,000     | 450,000    | 200,000    |
| パ   | ンフレットデスク収入            | 2,095,250   | 2,005,000  | 90,250     |
| 会   | 議室使用料収入               | 239,700     | 296,500    | -56,800    |
| 懇   | 学協親会出展料               | 270,000     | 270,000    | 0          |
| 学   | 日本雑誌の出版料              | 50,000      | 0          | 50,000     |
| 日   | 刊行事業収益                | 451,000     | 343,300    | 107,700    |
| 所   | 刊行事業収益                | 245,000     | 95,000     | 150,000    |
| 刊   | JGL広告料収入              | 245,000     | 70,000     | 175,000    |
| J   | メールニュース広告料収入          | 0           | 25,000     | -25,000    |
| メ   | ールニュース広告料収入           | 24,318,264  | 0          | 24,318,264 |
| 受   | 取補助金等                 | 23,918,264  | 0          | 23,918,264 |
| 25  | 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費） | 400,000     | 0          | 400,000    |
| 千   | 葉国際コンベンションユロー助成金      | 87,308      | 78,643     | 8,665      |
| 葉   | 国際コンベンションユロー助成金       | 19,302      | 14,640     | 4,662      |
| 雑   | 受取の利息他                | 68,006      | 64,003     | 4,003      |
| 受   | 取の利息他                 | 111,848,047 | 81,288,696 | 30,559,351 |
| 所   | 経常収益計                 |             |            |            |
| (2) | 経常費用                  |             |            |            |
| 事   | 事業手当費                 | 98,259,100  | 59,593,880 | 38,665,220 |
| 給   | 料手当費                  | 11,947,246  | 7,944,648  | 4,002,598  |
| 法   | 臨時雇用利賃金               | 1,514,530   | 788,840    | 725,690    |
| ホ   | 一ムペール制作費              | 3,709,310   | 3,765,500  | -56,190    |
| そ   | の他アナルバイト              | 300,000     | 360,000    | -60,000    |
| ジ   | ヤ一ナルバイト               | 3,346,000   | 3,405,500  | -59,500    |
| 会   | 旅費交通費                 | 63,310      | 0          | 63,310     |
| 旅   | 費交通費                  | 448,225     | 350,000    | 98,225     |
| 通   | 信運搬費                  | 10,038,174  | 3,099,920  | 6,938,254  |
| 通   | 減価償却費                 | 574,955     | 432,355    | 142,600    |
| 消   | 消耗什器備品費               | 9,463,219   | 2,667,565  | 6,795,654  |
| 消   | 消耗什器備品費               | 2,802,786   | 1,951,527  | 851,259    |
| 印   | 刷製本費                  | 3,178,579   | 2,555,872  | 622,707    |
| ブ   | プロダラム印刷製本費            | 540,834     | 0          | 540,834    |
| プ   | ポロスグラム印刷製本費           | 6,084,954   | 1,268,029  | 4,816,925  |
| 書   | JGLの印刷製本費             | 8,551,989   | 7,692,826  | 859,163    |
| J   | 図出賃事務場備機の賃材の賃借料       | 619,500     | 0          | 619,500    |
| 所   | 出賃事務場備機の賃材の賃借料        | 2,176,793   | 3,201,450  | -1,024,657 |
| 設   | 諸租税公手数料金費             | 125,856     | 140,083    | -14,227    |
| 支   | 支委シテの雑保広管給料手当         | 0           | 36,564     | -36,564    |
| 支   | 支委シテの雑保広管給料手当         | 3,589,950   | 3,703,770  | -113,820   |
| 委   | シテの雑保広管給料手当           | 2,039,890   | 610,959    | 1,428,931  |
| シ   | テの雑保広管給料手当            | 2,940       | 0          | 2,940      |
| 所   | 出賃事務場備機の賃材の賃借料        | 299,622     | 111,406    | 188,216    |
| 設   | 諸租税公手数料金費             | 21,738,071  | 18,551,360 | 3,186,711  |
| 支   | 支委シテの雑保広管給料手当         | 2,178,870   | 1,349,460  | 829,410    |
| 支   | 支委シテの雑保広管給料手当         | 162,204     | 150,828    | 11,376     |
| 委   | シテの雑保広管給料手当           | 15,364,944  | 14,143,584 | 1,221,360  |
| シ   | テの雑保広管給料手当            | 2,738,584   | 2,765,988  | -27,404    |
| 所   | 出賃事務場備機の賃材の賃借料        | 1,293,469   | 141,500    | 1,151,969  |
| 設   | 諸租税公手数料金費             | 4,697,056   | 3,956,400  | 740,656    |
| 支   | 支委シテの雑保広管給料手当         | 1,186,500   | 0          | 1,186,500  |
| 支   | 支委シテの雑保広管給料手当         | 1,406,600   | 0          | 1,406,600  |
| 委   | シテの雑保広管給料手当           | 1,701,094   | 1,510,496  | 190,598    |
| シ   | テの雑保広管給料手当            | 1,317,000   | 815,000    | 502,000    |
| 所   | 出賃事務場備機の賃材の賃借料        | 11,071,412  | 5,130,583  | 5,940,829  |
| 設   | 諸租税公手数料金費             | 5,582,689   | 4,667,250  | 915,439    |
| 支   | 支委シテの雑保広管給料手当         | 5,488,723   | 463,333    | 5,025,390  |
| 支   | 支委シテの雑保広管給料手当         | 93,884      | 98,233     | -4,349     |
| 委   | シテの雑保広管給料手当           | 2,100       | 3,240      | -1,140     |
| シ   | テの雑保広管給料手当            | 5,926,194   | 0          | 5,926,194  |
| 所   | 出賃事務場備機の賃材の賃借料        | 8,375,217   | 9,923,764  | -1,548,547 |
| 設   | 諸租税公手数料金費             | 4,627,798   | 4,057,541  | 570,257    |

48

# 正味財産増減計算書内訳表

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位：円)

| 科 目                          | 公益目的事業     |           | 合 計        |
|------------------------------|------------|-----------|------------|
|                              | 学術振興事業     | 法人会計      |            |
| I 一般正味財産増減の部                 |            |           |            |
| 1. 経常増減の部                    |            |           |            |
| (1) 経常収益                     |            |           |            |
| 基 本 財 産 運 用 益                | 1,250      | 0         | 1,250      |
| 基 本 財 産 受 取 利 息              | 1,250      | 0         | 1,250      |
| 特 定 資 産 運 用 利 益              | 1,775      | 0         | 1,775      |
| 特 定 資 産 受 取 利 費              | 1,775      | 0         | 1,775      |
| 受 当 年 業 度 会 費                | 5,583,000  | 5,583,000 | 11,166,000 |
| 事 学 術 大 会 事 業 収 益            | 5,583,000  | 5,583,000 | 11,166,000 |
| 大 投 稿 展 加 料 収 入              | 73,474,666 | 2,798,784 | 76,273,450 |
| 団 体 イン フ ォ メ シ ョ ン パ ネ ル 収 入 | 73,229,666 | 2,798,784 | 76,028,450 |
| 書 籍 展 示 ト デ ス ク 収 入          | 40,932,216 | 2,798,784 | 43,731,000 |
| パ ン フ レ ッ ト 収 入              | 9,341,500  | 0         | 9,341,500  |
| 会 議 親 使 用 料 収 入              | 17,250,000 | 0         | 17,250,000 |
| 懇 親 協 会 出 展 入 料              | 770,000    | 0         | 770,000    |
| 学 日 本 ジ オ パ ー 収 入            | 1,180,000  | 0         | 1,180,000  |
| 刊 J G L 広 告 料 収 入            | 650,000    | 0         | 650,000    |
| 受 取 補 助 金 等                  | 2,095,250  | 0         | 2,095,250  |
| 25年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)      | 239,700    | 0         | 239,700    |
| 千葉国際コンベンションビューロー助成金          | 270,000    | 0         | 270,000    |
| 雑 受 取 利 息 他                  | 50,000     | 0         | 50,000     |
| 経常収益計                        | 451,000    | 0         | 451,000    |
| (2) 経常費用                     | 245,000    | 0         | 245,000    |
| 事 業 手 費 当 金                  | 245,000    | 0         | 245,000    |
| 給 法 臨 時 料 福 賃 費              | 24,318,264 | 0         | 24,318,264 |
| ホ ー ム ペ ー ジ 作 成 費            | 23,918,264 | 0         | 23,918,264 |
| そ の 他 ア ナ ル バ イ ト            | 400,000    | 0         | 400,000    |
| 会 旅 費 議 交 通 費                | 76,634     | 10,674    | 87,308     |
| 通 交 信 運 搬 費                  | 8,634      | 10,668    | 19,302     |
| 通 減 消 耗 什 耗 器 備 品 費          | 68,000     | 6         | 68,006     |
| 印 刷 グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 98,259,100 | 0         | 98,259,100 |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 11,947,246 | 0         | 11,947,246 |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 1,514,530  | 0         | 1,514,530  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 3,709,310  | 0         | 3,709,310  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 300,000    | 0         | 300,000    |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 3,346,000  | 0         | 3,346,000  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 63,310     | 0         | 63,310     |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 448,225    | 0         | 448,225    |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 10,038,174 | 0         | 10,038,174 |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 574,955    | 0         | 574,955    |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 9,463,219  | 0         | 9,463,219  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 2,802,786  | 0         | 2,802,786  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 3,178,579  | 0         | 3,178,579  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 540,834    | 0         | 540,834    |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 6,084,954  | 0         | 6,084,954  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 8,551,989  | 0         | 8,551,989  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 619,500    | 0         | 619,500    |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 2,176,793  | 0         | 2,176,793  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 125,856    | 0         | 125,856    |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 3,589,950  | 0         | 3,589,950  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 2,039,890  | 0         | 2,039,890  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 2,940      | 0         | 2,940      |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 299,622    | 0         | 299,622    |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 21,738,071 | 0         | 21,738,071 |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 2,178,870  | 0         | 2,178,870  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 162,204    | 0         | 162,204    |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 15,364,944 | 0         | 15,364,944 |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 2,738,584  | 0         | 2,738,584  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 1,293,469  | 0         | 1,293,469  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 4,697,056  | 0         | 4,697,056  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 1,186,500  | 0         | 1,186,500  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 1,406,600  | 0         | 1,406,600  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 1,701,094  | 0         | 1,701,094  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 1,317,000  | 0         | 1,317,000  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 11,071,412 | 0         | 11,071,412 |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 5,582,689  | 0         | 5,582,689  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 5,488,723  | 0         | 5,488,723  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 93,884     | 0         | 93,884     |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 2,100      | 0         | 2,100      |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 5,926,194  | 0         | 5,926,194  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 0          | 8,375,217 | 8,375,217  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 0          | 4,627,798 | 4,627,798  |
| プ ロ グ ラ ム 一 の 展 借 賃 借 料      | 0          | 375,247   | 375,247    |



|                 |   |    |   |    |            |           |             |
|-----------------|---|----|---|----|------------|-----------|-------------|
| 会旅              | 費 | 議交 | 通 | 費費 | 0          | 2,500     | 2,500       |
| 通交              |   | 勤通 |   | 費費 | 0          | 751,410   | 751,410     |
| 通消              | 信 | 運  | 搬 | 費費 | 0          | 233,880   | 233,880     |
| 修賃              | 耗 | 繕借 | 品 | 費費 | 0          | 517,530   | 517,530     |
| 事               | 務 | 所機 | 賃 | 料  | 0          | 96,491    | 96,491      |
| 事               | 務 | の  | 賃 | 料  | 0          | 295,947   | 295,947     |
| 諸               | 税 | 謝  | 借 | 他  | 0          | 61,215    | 61,215      |
| 租               |   | 手  | 借 | 金  | 0          | 686,310   | 686,310     |
| 支               | 払 | 公  | 借 | 課  | 0          | 589,050   | 589,050     |
| 雑               |   | 数  |   | 料  | 0          | 65,820    | 65,820      |
| 經常費用計           |   |    |   | 費  | 0          | 31,440    | 31,440      |
| 評価損益等調整前当期經常増減額 |   |    |   | 費  | 0          | 1,155,000 | 1,155,000   |
| 損益評価等計          |   |    |   | 料  | 0          | 8,800     | 8,800       |
| 当期經常増減額         |   |    |   | 金  | 0          | 224,385   | 224,385     |
| 2. 經常外増減の部      |   |    |   | 課  | 0          | 90,114    | 90,114      |
| (1) 經常外収益       |   |    |   | 料  | 98,259,100 | 8,375,217 | 106,634,317 |
| 經常外収益計          |   |    |   | 費  | 5,196,489  | 17,241    | 5,213,730   |
| (2) 經常外費用       |   |    |   | 費  | 0          | 0         | 0           |
| 經常外費用計          |   |    |   | 費  | 0          | 0         | 0           |
| 当期經常外増減額        |   |    |   | 費  | 0          | 0         | 0           |
| 当期一般正味財産増減額     |   |    |   | 費  | 5,196,489  | 17,241    | 5,213,730   |
| 一般正味財産期首残高      |   |    |   | 費  |            |           | 81,513,338  |
| 一般正味財産期末残高      |   |    |   | 費  |            |           | 86,727,068  |
| II 指定正味財産増減の部   |   |    |   | 費  |            |           |             |
| 受取補助金等          |   |    |   | 費  |            |           | 27,900,000  |
| 一般正味財産への振替額     |   |    |   | 費  |            |           | -23,918,264 |
| 当期指定正味財産増減額     |   |    |   | 費  |            |           | 3,981,736   |
| 指定正味財産期首残高      |   |    |   | 費  |            |           | 0           |
| 指定正味財産期末残高      |   |    |   | 費  |            |           | 3,981,736   |
| III 正味財産期末残高    |   |    |   | 費  |            |           | 90,708,804  |

# 財産目録

平成26年 3月31日現在

公益目的事業会計

(単位:円)

| 貸借対照表科目 |                      | 場所・物量等        | 使用目的等          | 金額          |
|---------|----------------------|---------------|----------------|-------------|
| (流動資産)  |                      |               |                |             |
| 現金      |                      | 手元保管          | 運転資金として        | 445,059     |
| 預金      |                      | 普通預金          | 運転資金として        | 59,449,991  |
|         |                      | 三菱東京UFJ銀行本郷支店 | 運転資金として        | 15,159,515  |
|         |                      | りそな銀行本郷       |                | 10,003,072  |
|         |                      | ゆうちょ銀行        |                | 10,003,483  |
|         |                      | みずほ銀行本郷支店     | 運転資金として        | 11,246,493  |
|         |                      | みずほ銀行本郷支店     | 運転資金として        | 1,542,955   |
|         |                      | 千葉銀行東京営業部     | 運転資金として        | 11,494,473  |
| 未収金     |                      |               | 地学オリンピックコピー代   | 69,397      |
| 未成事業支出金 |                      |               |                | 17,661,202  |
| 学術振興事業  |                      |               | 学術振興事業費用前払分    | 17,661,202  |
| 立替金     |                      |               |                | 289,829     |
| 労働保険料   |                      |               | 雇用保険料の個人負担分    | 4,780       |
| 印刷製本費等  |                      | 横浜市           | 次世代育成事業プログラム   | 124,330     |
| 広告宣伝費   |                      | COPERNICS     | PEPS広告代        | 139,719     |
| 広告宣伝費   |                      | レタープレス        | PEPS広告代        | 21,000      |
| 預け金     |                      | スプリング         | PEPS印刷代        | 3,947,100   |
| 前払費用    |                      |               | 事務所賃借料の前払い分    | 178,500     |
| 仮払金     |                      |               |                | 295,436     |
| 賃借料     |                      | AGU           | ガス代            | 295,436     |
| 流動資産合計  |                      |               |                | 82,336,514  |
| (固定資産)  |                      |               |                |             |
| 基本財産    |                      |               |                |             |
|         | 定期預金                 | みずほ銀行         | 公益目的保有財産である    | 5,000,000   |
| 特定資産    |                      |               |                | 5,000,000   |
|         | 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金 | 三菱東京UFJ銀行     |                | 18,000,000  |
|         | 国際化推進準備資金            | 三菱東京UFJ銀行     |                | 9,000,000   |
| その他固定資産 |                      |               |                | 9,000,000   |
|         | 什器備品                 |               | 公益目的保有財産である    | 11,306,579  |
|         | ソフトウェア               |               | 公益目的保有財産である    | 363,409     |
|         | 保証金                  |               |                | 10,404,970  |
|         | 学会センタービル             |               | 事務所の保証金        | 538,200     |
| 固定資産合計  |                      |               |                | 538,200     |
| 資産合計    |                      |               |                | 34,306,579  |
| (流動負債)  |                      |               |                | 116,643,093 |
|         | 未払金                  |               | 経費支払いの未払い分     | 1,584,654   |
|         | 未払費用                 |               |                | 2,325,272   |
|         | 給料手当                 |               | 給料の未払い分他       | 2,027,123   |
|         | 通勤手当                 |               | 通勤費の未払い分       | 129,490     |
|         | 健康・厚生保険料             |               | 健康保険・厚生年金保険料の未 | 168,659     |
|         | 未成事業受入金              |               |                | 17,153,100  |
|         | 学術振興事業               |               | 学術振興事業収入の前受分   | 17,153,100  |
|         | 前受会費                 |               | 会費収入の前受分       | 3,947,000   |
|         | 預り金                  |               |                | 342,529     |
|         | 給与源泉税                |               | 給与源泉税の預り分      | 167,004     |
|         | 報酬源泉税                |               | 報酬源泉税の預り分      | 144,725     |
|         | その他                  |               |                | 30,800      |
|         | 仮受金                  |               | 個人4月末支払社保      | 30,234      |
|         | 未払消費税等               |               |                | 551,500     |
| 流動負債合計  |                      |               |                | 25,934,289  |
| 負債合計    |                      |               |                | 25,934,289  |
| 正味財産    |                      |               |                | 90,708,804  |

## 財務諸表に対する注記

平成26年3月31日現在

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 3年間の均等償却。  
ソフトウェア 定額法、

#### (4) 引当金の計上基準

該当なし

#### (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当なし

#### (6) 消費税等の会計処理

税込方式によっている

### 3. 会計方針の変更

該当なし

### 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目                  | 前期末残高     | 当期増加額      | 当期減少額     | 当期末残高      |
|----------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 基本財産                 |           |            |           |            |
| 定期預金                 | 5,000,000 | 0          | 0         | 5,000,000  |
| 基本財産計                | 5,000,000 | 0          | 0         | 5,000,000  |
| 特定資産                 |           |            |           |            |
| 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金 | 0         | 12,000,000 | 3,000,000 | 9,000,000  |
| 国際化推進準備資金            |           | 9,000,000  |           | 9,000,000  |
| 特定資産資産計              | 0         | 21,000,000 | 3,000,000 | 18,000,000 |
| 合計                   | 5,000,000 | 21,000,000 | 3,000,000 | 23,000,000 |

### 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目                  | 当期末残高      | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に<br>対応する額) |
|----------------------|------------|------------------|------------------|------------------|
| 基本財産                 |            |                  |                  |                  |
| 定期預金                 | 5,000,000  |                  | (5,000,000)      | (0)              |
| 基本財産計                | 5,000,000  | 0                | (5,000,000)      | (0)              |
| 特定資産                 |            |                  |                  |                  |
| 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金 | 9,000,000  |                  | (9,000,000)      | (0)              |
| 国際化推進準備資金            | 9,000,000  |                  | (9,000,000)      | (0)              |
| 特定資産計                | 18,000,000 |                  | (18,000,000)     | (0)              |
| 合計                   | 23,000,000 |                  | (23,000,000)     | (0)              |

### 6. 担保に供している資産

該当なし

### 7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

| 科 目         | 取 得 価 額    | 減価償却累計額    | 当 期 末 残 高  |
|-------------|------------|------------|------------|
| 什 器 備 品     | 531,130    | 167,721    | 363,409    |
| ソ フ ト ウ ェ ア | 20,909,587 | 10,504,617 | 10,404,970 |
| 合 計         | 21,440,717 | 10,672,338 | 10,768,379 |

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶々  
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

| 補助金の名称 | 交付者           | 前期末残高 | 当期増加額      | 当期減少額      | 当期末残高     | 貸借対照上の記載区分 |
|--------|---------------|-------|------------|------------|-----------|------------|
| 科学研究費  | 日本学術会議        |       | 27,900,000 | 23,918,264 | 3,981,736 | 指定正味財産     |
| 助成金    | 千葉コンベンションビュロー |       | 400,000    | 400,000    | 0         | 一般正味財産     |

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

|                   |            |
|-------------------|------------|
| 受取補助金使用による<br>振替額 | 23,918,264 |
|-------------------|------------|

14. 関連当事者との取引の内容  
該当なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし

16. 重要な後発事象  
該当なし

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記 5.に記載  
しており、内容の記載を省略する

2. 引当金の明細

該当なし

# 監査報告書

平成 26 年 4 月 23 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
代表理事（会長） 津田 敏隆 殿

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
監事 鈴木 善和



私監事は、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの公益社団法人日本地球惑星科学連合第 3 期事業年度における会計及び業務の監査を行った。その結果につき次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続きを用いて財務諸表の適正性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、公益社団法人日本地球惑星科学連合の第 3 期事業年度の正味財産増減の状況及び同事業年度末日現在の財政状態を適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、事実に従い、公益社団法人日本地球惑星科学連合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

# 監査報告書

平成 26 年 4 月 23 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
代表理事（会長） 津田 敏隆 殿

公益社団法人日本地球惑星科学連合

監事 松浦 充宏



私監事は、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 3 期事業年度における会計及び業務の監査を行った。その結果につき次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続きを用いて財務諸表の適正性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、公益社団法人日本地球惑星科学連合の第 3 期事業年度の正味財産増減の状況及び同事業年度末日現在の財政状態を適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、事実に従い、公益社団法人日本地球惑星科学連合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

| (下線部分は変更箇所)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |      |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------|--|
| 現行定款                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 変更案                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |      |  |
| (役員の設置)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | (役員の設置)                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |      |  |
| 第15条<br>この法人に、次の役員を置く。<br>理事 15名以上20名以内<br>監事 2名以内                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 第15条<br>この法人に、次の役員を置く。<br>理事 15名以上20名以内<br>監事 3名以内                                                                                                                                                                                                                                                                             | 現行定款は、理事の職務を監査する監事の地位を強化しその独立を担保するという観点から監事の任期を理事の任期より長期となることを原則として定める法人法66条・67条の趣旨をそのまま生かす形で設けられたものである。しかし、当法人の団体としての性格に照らすと、監事の任期が長期となることは安定的に適任を得ることの妨げとなり却って監査の実を損なうことにもなりかねない事態も想定され得るところである。そこで、法人法67条の許す範囲内にて、監事と理事の任期とを同一のものとし、他方で、監事の人数を2名以内から3名以内へと増やすことにて任期の短縮により監査機能が弱まることのないようにするというのが、この度の定款変更の理由である。 |  |      |  |
| (任期)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  | (任期) |  |
| 第19条<br>理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。<br>2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。<br>3 補充又は増員により選任された役員の任期は前任期又は現任者の残任期間とする。但し、当該監事の選任時が他の在任中の監事の選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時を経過している場合は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。<br>4 理事又は監事は、第15条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。 | 第19条<br>役員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。<br>2 補充又は増員により選任された役員の任期は前任期又は現任者の残任期間とする。但し、当該監事の選任時が他の在任中の監事の選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時を経過している場合は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。<br>3 理事又は監事は、第15条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |      |  |

(参考)

○一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（抜粋）

(理事の任期)

第六十六条 理事の任期は、選任後二年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、定款又は社員総会の決議によって、その任期を短縮することを妨げない。

(監事の任期)

第六十七条 監事の任期は、選任後四年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、定款によって、その任期を選任後二年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、定款によって、その任期を短縮することを妨げない。

2 前項の規定は、定款によって、任期の満了前として選任された監事の任期を退任した監事の任期の満了する時までとするものを妨げない。

3 前二項の規定にかかわらず、監事を置く旨の定款の定めを廃止する定款の変更をした場合には、監事の任期は、当該定款の変更の効力が生じた時に満了する。

## 第 4 号議案 役員（理事、監事）選任の件

### ■平成 25 年定時社員総会にて役員候補者推薦委員会の選任

日時：平成 25 年 5 月 22 日（水）19：00～20：00

場所：幕張メッセ国際会議場 203 号室

#### 第 2 号議案 役員候補者推薦委員会委員選任の件

議長の指名により，会長の津田敏隆氏から，平成 26 年度定時社員総会の終結と同時に任期満了となる役員の後任者選任手続きのために，配布資料の名簿の通り，役員候補者推薦委員会委員の選任する旨の説明が行われた。議長はこれについて，議場に諮ったところ，出席社員全員の賛成により承認された。

役員候補者推薦委員会 委員

|                    | 氏 名          |
|--------------------|--------------|
| 会 長                | 津 田 敏 隆（委員長） |
| 副 会 長              | 川 幡 穂 高      |
| 〃                  | 木 村 学        |
| 〃                  | 中 村 正 人      |
| 理 事                | 畠 山 正 恒      |
| 宇宙惑星科学セクションプレジデント  | 大 村 善 治      |
| 大気水圏科学セクションプレジデント  | 中 島 映 至      |
| 地球人間圏科学セクションプレジデント | 氷見山 幸 夫      |
| 固体地球科学セクションプレジデント  | 大 谷 栄 治      |
| 地球生命科学セクションプレジデント  | 北 里 洋        |

### ■平成 25 年度役員候補者推薦委員会にて、次期役員候補者を推薦

日時：2 月 1 日（土）16：00-

場所：東京大学理学部 1 号館 843 号室

### ■平成 25 年度第 7 回理事会にて、役員候補者推薦リストを承認

日時：平成 26 年 3 月 8 日（土）9:30-13 時 00

場所：貸会議室プラザ八重洲北口（東京都中央区八重洲 1-7-4 矢満登ビル 3F-5 号室）

#### 第 3 号議案 役員候補者推薦リストの承認について

役員候補者推薦委員会から提出された推薦名簿を確認した。理事会としてこれを承認し，次回平成 26 年度定期社員総会に決議事項として提出するとした。



【次期役員被推薦者名簿】

|     | 氏名        | 所属                   |
|-----|-----------|----------------------|
| 理 事 | ウォリス サイモン | 名古屋大学 大学院環境学研究科      |
|     | 奥村晃史      | 広島大学 大学院文学研究科        |
|     | 川幡穂高      | 東京大学 大気海洋研究所         |
|     | 北 和之      | 茨城大学 理学部             |
|     | 木村 学      | 東京大学 大学院理学系研究科       |
|     | 高橋幸弘      | 北海道大学 大学院理学院         |
|     | 瀧上 豊      | 関東学園大学               |
|     | 田中賢治      | 京都大学 防災研究所           |
|     | 津田敏隆      | 京都大学 生存圏研究所          |
|     | 中村正人      | 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所   |
|     | 成瀬 元      | 京都大学 大学院理学研究科        |
|     | 西 弘嗣      | 東北大学 学術資源研究公開センター    |
|     | 畠山正恒      | 聖光学院 中学高等学校          |
|     | 浜野洋三      | 海洋研究開発機構             |
|     | 原田尚美      | 海洋研究開発機構             |
|     | 日比谷紀之     | 東京大学 大学院理学系研究科       |
|     | 古村孝志      | 東京大学 大学院総合防災情報研究センター |
|     | 道林克禎      | 静岡大学 理学部地球科学科        |
|     | 村山泰啓      | 情報通信研究機構             |
|     | 渡邊誠一郎     | 名古屋大学 大学院環境学研究科      |
| 監 事 | 北里 洋      | 海洋研究開発機構             |
|     | 鈴木善和      | 弁護士                  |
|     | 松浦充宏      | 情報・システム研究機構 統計数理研究所  |



